

後免野田小学校 3 階 トイレ 洋式化 改修 工事

後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事

図 面 リ ス ト					
意 匠 図		電 気 設 備 図		機 械 設 備 図	
A-01	特記仕様書（1）	E-01	特記仕様書	M-01	機械設備特記仕様書（1）
A-02	特記仕様書（2）	E-02	機材指定表	M-02	機械設備特記仕様書（2）
A-03	特記仕様書（3）	E-03	2階電灯設備平面図	M-03	衛生設備 3階平面詳細図（改修前・後）
A-04	特記仕様書（4）	E-04	3階電灯設備平面図	M-04	換気設備 2・3階平面図（改修前・後）
A-05	特記仕様書（5）	E-05	3階コンセント設備平面図		
A-06	特記仕様書（6）				
A-07	特記仕様書（7）				
A-08	特記仕様書（8）				
A-09	特記仕様書（9）				
A-10	特記仕様書（10）				
A-11	付近見取図・配置図				
A-12	仕上表・平面図				
A-13	平面詳細図（改修前・後）				
A-14	断面詳細図（改修前・後）				
A-15	2階天井伏図（改修前・後）				
A-16	3階天井伏図（改修前・後）				
A-17	部分詳細図（改修前・後）				
A-18	展開図（改修前）				
A-19	展開図（改修後）				
A-20	建具表				
A-21	【新設】建具表				
A-22	家具図				
A-23	外部仮設計画図				
A-24	内部仮設計画図				

3

防水改修工事

・降雨等に対する養生方法（とい共）

※改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による ・（ ） [3.1.3]

・既存防水の処理

既存保護層の撤去 ・行う （範囲 ・図示 ・） [3.2.3、4、6]
既存防水層の撤去 ・行う （範囲 ・図示 ・）
立上り部の防水層撤去 ・行う（・POS ・POS1 ・M4S ・M4S1 ・S4S ・S4S1）
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X）

・既存下地の処理

既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ・図示 ・（ ） [3.2.6]

・アスファルト防水

押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0（mm） ・（ ） [3.3.2]

屋根保護防水 [3.3.2～5][表3.1.1][表3.3.3～6]

工 法	種 別	施工箇所	断熱材 [G]		絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3				※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
・P1B	・B-1 ・B-2					
・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		厚さ ・25mm ・		※フラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・	
・P1B1	・B1-1					
・T1B1	・B1-2					

屋根露出防水 [3.3.2～3][表3.1.1][表3.3.7～9]

工 法	種 別	施工箇所	断熱材 [G]		備 考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4				
・M3D	・D-1				脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける
・P0D	・D-2				
・P0D1	・D1-1		種類 ・		脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける
・M3D1	・D1-2		厚さ ・25mm ・		
・M4D1					

脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルト-フィング 類の製造所の指定による
・（種類： ・、数量 個／㎡）

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン周りとび立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
・（ ） ・図示

屋内防水 [3.3.2～3、5][表3.1.1][表3.3.10]

工 法	種 別	施工箇所	備 考
・P1E	・E-1（工程3 ・行う）		保護層 ・設ける
・P2E	・E-2		

屋上排水溝 ・適用する

・改質アスファルトシート防水

[3.4.2、3]

三 建設 有限 会社

登録高-6号

高知市知寄町1-5-1
一級建築士第135971

TEL 883-1761
安 並 和 文

FAX 883-1633

・合成高分子系
ルーフingシート防水

絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ・（ ） [3.5.2]
断熱材 [G]（S1-F1、S1-F2、S1-M1、S1-M2の場合）
種類 ・（ ） 厚さ ・25mm ・（ ）

工 法

種 別

施工箇所

厚さ(mm)

分 類

仕上塗料

備 考

・POS
・S4S

・S-F1
・S-F2
・S-M1

※1.2
※2.0
※1.5

※非歩行
・軽歩行
・

・カラー
・シルバー

脱気装置
・設ける
改修用ドレン
・設ける

・S3S

・S-F1
・S-F2

※1.2
※2.0

※非歩行
・軽歩行
・

・カラー
・シルバー

脱気装置
・設ける

・M4S

・S-M1
・S-M2

※1.5
※1.5

※非歩行
・軽歩行
・

・カラー
・シルバー

脱気装置
・設ける

・POS1
・S3S1
・S4S1
・M4S1

・S1-F1
・S1-F2
・S1-M1
・S1-M2

※1.2
※2.0
※1.5
※1.5

※非歩行
・軽歩行
・

・カラー
・シルバー

脱気装置
・設ける

脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフingシートの製造所の指定による
・（種類： ・、数量 個／㎡）

防湿用フィルムの設置（S1-M1、S1-M2の場合） ・適用する

屋内防水 [表3.5.3]

工 法	種 別	施工箇所	備 考
屋内保護 密着工法	・S-C1		工程4のモルタルの塗厚 ・ mm

既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） [3.5.4]
目地処理 ・行う（工法
増張り ・行う（S-F1、S1-F1の場合）

工 法

種 別

施工箇所

備 考

・POX

※X-1
・X-2
・X-1H
・X-2H

脱気装置
改修用ドレン

・設ける
・設ける

・L4X

・X-1
※X-2
・X-1H
・X-2H

脱気装置

・設ける

・P1Y

※Y-2

保護層

・保護モルタル ・（ ）

・P2Y

※Y-2

保護層

・保護モルタル ・（ ）

脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による
・（種類： ・、数量 個／㎡）

シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3、7、8]
・シーリング充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
全ての箇所	MS-2

シーリング面への仕上塗材仕上げ等 ・行う ○行わない
ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する
エッジング材張り ・適用する
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（部位 ）

といたいの他の材種 [3.8.2、3]
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管（※RF-VP [G] ・VP）
・（ ）

ルーフドレン

種 類	材 種	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型 ・横型）		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

防露材のルーフing放散量
※「1(各章共通事項) 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・（ ） ・図示

種 類

・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ） [3.9.2、3]
・シール形式（板材折曲げ形）

板材折曲げ形の場合 本体幅（ mm） 板厚（※2.0mm ・）
役 物 ・適用する
表面処理 種別 ・AB-1種又はBB-1種 ・BB-2
着色 ・標準色 ・特注色

工 法
既存笠木等の撤去 ・行う （範囲 ・ 図示）
下地補修の工法 ・（ ） ・図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・（ ） ・図示

・防水保証期間

期間は（ 10 ）年とし、請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。

4-1

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

・ひび割れ部
改修工法

・欠損部改修工法

4-2

外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）

・ひび割れ部
改修工法

・欠損部改修工法

・浮き部改修工法

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.4～7]

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※50～100 ・ ※100～200 ・ ※150～250 ・	※40 ・ ※70 ・ ※130 ・

注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ）
・（ ）

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・（ ）
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

※充填工法 [4.1.4][4.2.4、8]
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5～8]

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	※130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※50～100 ・ ※100～200 ・ ※150～250 ・	※40 ・ ※70 ・ ※130 ・

注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ）
・（ ）

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材充填
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・（ ）
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

※充填工法 [4.1.4][4.3.9、10]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調査材料
・既調査材料
既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・）
仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の処置 ※図示 ・（ ）

[4.1.4][4.3.11～16]

改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 指定部	注入量 (箇所/ml)		
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	―― ――	※25 ・	
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	―― ――	―― ――	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法					
・モルタル塗替え工法					

アンカーピンの材質等
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・（ ）

注入口付アンカーピンの材質等
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mm程度 ・（ ）

特記仕様書（建築改修工事編）（2）

令和4年度版

高知県土木部建築課

令和 年 月

後免野田小学校3階トイレ洋式改修工事（建築） 工事
令和5年7月改正

A-02

4-3 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）	充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントスラリー		・タイル張替え工法 張付け用材料の種類 ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系	5 建具改修工事	○改修工法	[5. 1. 3] <table><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○アルミニウム製建具</td><td>○</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>—</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>○鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td></td><td>○内部</td><td>・</td><td>○</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・木製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr></table>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具	○	・	※図示 ・	・樹脂製建具	—	・	※図示 ・	○鋼製建具	・外部	・	※図示 ・		○内部	・	○	※図示 ・	・鋼製軽量建具	・	・	※図示 ・	・ステンレス製建具	・	・	※図示 ・	・木製建具	・	・	※図示 ・																																														
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																	
	○アルミニウム製建具	○	・	※図示 ・																																																																																	
	・樹脂製建具	—	・	※図示 ・																																																																																	
	○鋼製建具	・外部	・	※図示 ・																																																																																	
		○内部	・	○	※図示 ・																																																																																
	・鋼製軽量建具	・	・	※図示 ・																																																																																	
	・ステンレス製建具	・	・	※図示 ・																																																																																	
	・木製建具	・	・	※図示 ・																																																																																	
	・既存タイル張りの撤去 ・ひび割れ部改修工法	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ 改修箇所 ※既存タイル張り面 [4. 1. 4][4. 4. 5、6] ・既存タイル撤去面（ ・コンクリート面 ・モルタル面 ） ※樹脂注入工法 <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml /m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 2以上～1. 0以下</td><td>※200～300 ・</td><td>※130 ・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 2以上～0. 3未満</td><td>※ 50～100 ・</td><td>※ 40 ・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0. 3以上～0. 5未満</td><td>※100～200 ・</td><td>※ 70 ・</td></tr><tr><td></td><td>0. 5以上～1. 0以下</td><td>※150～250 ・</td><td>※130 ・</td></tr></table> コア抜取り検査 ※行う ・行わない 抜取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・（ ） 抜取り部の補修方法 ※図示 ・（ ） ・シカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面） ・シーリング材充填 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・（ ） ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂	種 類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml /m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0以下	※200～300 ・	※130 ・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3未満	※ 50～100 ・	※ 40 ・	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200 ・	※ 70 ・		0. 5以上～1. 0以下	※150～250 ・	※130 ・	・目地改修工法 ・タイルの形状、寸法等	・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り タイル張りの工法 外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・（ ） 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・（ ） ・目地ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4][4. 4. 5、16] ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ・（ ） タイルの形状、寸法等 [4. 4. 5、8] <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状寸法 (mm)</th><th>再生材の適用</th><th>再生材の種類</th><th>吸水率による区分</th><th>うわぐすり</th><th>役 物</th><th>色</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th></tr><tr><td></td><td></td><td>適用</td><td>Ⅰ類</td><td>Ⅱ類</td><td>Ⅲ類</td><td>施ゆう</td><td>無ゆう</td><td>あり</td><td>なし</td><td>標準</td><td>特注</td><td>あり</td><td>なし</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 見本焼き ・行う（施工箇所： ） ※行わない 試験張り ・行う（範囲、仕様等は図示 ） ※行わない	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	再生材の種類	吸水率による区分	うわぐすり	役 物	色	耐凍害性	耐滑り性			適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	あり	なし			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・防火戸 ・見本の製作等 ・防犯建物部品 ○7#ミニカム製建具	新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 ・（ ） 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・（ ） 建具符号（ ） [5. 1. 4] 防火戸、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・適用する 建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） [5. 1. 5] 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等がわかる程度 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ※適用する（ ） [5. 1. 7] 性能値等 [5. 2. 2～5][表5. 2. 1、2] ・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S－4、A－3、W－4）（建具符号： ） ・B種（S－5、A－3、W－4）（建具符号： ） ・C種（S－6、A－4、W－5）（建具符号： ） ・屋内の建具の性能等級（ ） 枠の見込み寸法 ・（ ） ・図示 ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JIL ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 ・（ ） 着色 ※標準色 ・特注色（ ） 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 ・（ ） 着色 ※標準色 ・特注色（ ） 結露水の処理方法 ・（ ） ・図示 水切り板、ぜん板 ・（ ） ・図示							
種 類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml /m)																																																																																		
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0以下	※200～300 ・	※130 ・																																																																																		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3未満	※ 50～100 ・	※ 40 ・																																																																																		
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200 ・	※ 70 ・																																																																																		
	0. 5以上～1. 0以下	※150～250 ・	※130 ・																																																																																		
施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	再生材の種類	吸水率による区分	うわぐすり	役 物	色	耐凍害性	耐滑り性																																																																												
		適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	あり	なし																																																																								
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																								
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																								
・欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 [4. 1. 4][4. 4. 5～8] 張付け用材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・タイル張替え工法 張付け用材料の種類 ・張付けモルタル（・現場調合材料 ・既調合モルタル） ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書 表4. 4. 2による ・図示 ・（ ） 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 ・（ ） ・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り タイル張りの工法 外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・（ ） 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・（ ）	・既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 ・下地調整塗材 ・仕上塗材仕上げ	・下地調整塗材（※C－2 ・C－1 ・CM－2） [4. 5. 2] ・ポリマーセメントモルタル 新規仕上塗材の種類 [4. 1. 5][4. 5. 2][表4. 5. 1] <table><tr><th>種 類</th><th>呼び名</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状</th></tr><tr><td rowspan="5">・薄付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材Si</td><td>・</td><td>・砂壁状</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材Si</td><td>・</td><td>・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）</td></tr><tr><td>・外装薄塗材E</td><td>・</td><td>・さざ波状 ・平たん状</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材E</td><td>・</td><td>・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）</td></tr><tr><td>・防水形外装塗材E</td><td>・</td><td>・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）</td></tr><tr><td rowspan="5">・厚付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材S</td><td>・</td><td>・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</td></tr><tr><td>・外装厚塗材C</td><td>・</td><td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状</td></tr><tr><td>・外装厚塗材Si</td><td>・</td><td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td></tr><tr><td>・外装厚塗材E</td><td>・</td><td>上塗材 ・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>・複層塗材CE</td><td>・</td><td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td></tr><tr><td rowspan="7">・複層仕上塗材</td><td>・可とう形複層塗材CE</td><td>・</td><td>耐候性 ※耐候形3種 ・</td></tr><tr><td>・複層塗材Si</td><td>・</td><td>上塗材</td></tr><tr><td>・複層塗材E</td><td>・</td><td>溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系</td></tr><tr><td>・複層塗材RE</td><td>・</td><td>樹 脂 ※アクリル系</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材CE</td><td>・</td><td>外 観 ※つやあり ・つやなし</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材E</td><td>・</td><td>・メタリック</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材RE</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">・可とう形改修用仕上塗材</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・</td><td>・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材RE</td><td>・</td><td>耐候性 ※耐候形3種 ・</td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材CE</td><td>・</td><td>上塗材</td></tr><tr><td></td><td></td><td>溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系</td></tr><tr><td rowspan="6">・浮き部改修工法</td><td>アンカービンの材質等 ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・（ ） 注入口付アンカービンの材質等 ※ステンレス鋼（SUS304）呼び外径6mm程度 ・（ ） ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法</td><td>アンカービンの本数(本/㎡) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量(箇所/㎡)</td><td>種 別 ・A種 ・B種 [4. 1. 5][4. 6. 2][表4. 6. 1] 仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（ ） 下地拳動緩衝材 ・適用する 模様材の種類及び所要量 ・（ ） ・図示 外壁用仕上塗料の種類と所要量 ・（ ） ・図示</td><td>・樹脂製建具 ○鋼製建具</td><td>性能値等 [5. 2. 2][5. 3. 2～5][表5. 3. 1] ・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S－4、A－4、W－4）（建具符号： ） ・B種（S－5、A－4、W－5）（建具符号： ） ・C種（S－6、A－4、W－5）（建具符号： ） ・屋内の建具の性能等級（ ） 枠の見込み寸法 ・（ ） ・図示 ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2）（建具符号： ） ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8）（建具符号： ） 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・（ ） 材料 ガラス ※複層ガラス ・（ ） 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2～4][表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S－4 ・S－5 ・S－6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JIL ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書（表5. 4. 2）による ・（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）</td></tr><tr><td colspan="5">三 建設 計 有 限 会 社 </td></tr></table>	種 類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）	・外装薄塗材E	・	・さざ波状 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）	・防水形外装塗材E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）	・厚付け仕上塗材	・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する ・適用しない	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・	・複層塗材Si	・	上塗材	・複層塗材E	・	溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系	・複層塗材RE	・	樹 脂 ※アクリル系	・防水形複層塗材CE	・	外 観 ※つやあり ・つやなし	・防水形複層塗材E	・	・メタリック	・防水形複層塗材RE	・		・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・可とう形改修塗材RE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・	・可とう形改修塗材CE	・	上塗材			溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系	・浮き部改修工法	アンカービンの材質等 ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・（ ） 注入口付アンカービンの材質等 ※ステンレス鋼（SUS304）呼び外径6mm程度 ・（ ） ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法	アンカービンの本数(本/㎡) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量(箇所/㎡)	種 別 ・A種 ・B種 [4. 1. 5][4. 6. 2][表4. 6. 1] 仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（ ） 下地拳動緩衝材 ・適用する 模様材の種類及び所要量 ・（ ） ・図示 外壁用仕上塗料の種類と所要量 ・（ ） ・図示	・樹脂製建具 ○鋼製建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 3. 2～5][表5. 3. 1] ・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S－4、A－4、W－4）（建具符号： ） ・B種（S－5、A－4、W－5）（建具符号： ） ・C種（S－6、A－4、W－5）（建具符号： ） ・屋内の建具の性能等級（ ） 枠の見込み寸法 ・（ ） ・図示 ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2）（建具符号： ） ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8）（建具符号： ） 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・（ ） 材料 ガラス ※複層ガラス ・（ ） 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2～4][表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S－4 ・S－5 ・S－6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JIL ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書（表5. 4. 2）による ・（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）	三 建設 計 有 限 会 社				
種 類	呼び名	防火材料	仕上げの形状																																																																																		
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状																																																																																		
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）																																																																																		
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状 ・平たん状																																																																																		
	・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）																																																																																		
	・防水形外装塗材E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）																																																																																		
・厚付け仕上塗材	・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく																																																																																		
	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																		
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																		
	・外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																		
	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																		
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																		
	・複層塗材Si	・	上塗材																																																																																		
	・複層塗材E	・	溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系																																																																																		
	・複層塗材RE	・	樹 脂 ※アクリル系																																																																																		
	・防水形複層塗材CE	・	外 観 ※つやあり ・つやなし																																																																																		
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック																																																																																		
	・防水形複層塗材RE	・																																																																																			
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																																																		
	・可とう形改修塗材RE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																		
	・可とう形改修塗材CE	・	上塗材																																																																																		
			溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系																																																																																		
・浮き部改修工法	アンカービンの材質等 ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・（ ） 注入口付アンカービンの材質等 ※ステンレス鋼（SUS304）呼び外径6mm程度 ・（ ） ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法	アンカービンの本数(本/㎡) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量(箇所/㎡)	種 別 ・A種 ・B種 [4. 1. 5][4. 6. 2][表4. 6. 1] 仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（ ） 下地拳動緩衝材 ・適用する 模様材の種類及び所要量 ・（ ） ・図示 外壁用仕上塗料の種類と所要量 ・（ ） ・図示	・樹脂製建具 ○鋼製建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 3. 2～5][表5. 3. 1] ・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S－4、A－4、W－4）（建具符号： ） ・B種（S－5、A－4、W－5）（建具符号： ） ・C種（S－6、A－4、W－5）（建具符号： ） ・屋内の建具の性能等級（ ） 枠の見込み寸法 ・（ ） ・図示 ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2）（建具符号： ） ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8）（建具符号： ） 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・（ ） 材料 ガラス ※複層ガラス ・（ ） 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2～4][表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S－4 ・S－5 ・S－6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JIL ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書（表5. 4. 2）による ・（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）																																																																																
	三 建設 計 有 限 会 社																																																																																				

	・鋼製軽量建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 5. 2～4] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書（表5. 5. 1）による ・（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）					・軽量シャッター					開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度 （ ） pa 安全装置 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z 06又はF 06 ・ ） ・JIS G 3322（塗装溶融55%7μm-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※A Z 90） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形					6 内 装 改 修 工 事	○改修範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示 ○既存床の撤去及び下地補修 ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ○下地モルタルとも（※図示の範囲 ・撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ・（ ） ・図示 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による ○既存壁の撤去及び下地補修 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り （塗り厚 25mm を超える場合の処置 ※図示 ・（ ） ○施工一般 材料のホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による ○木 材 G 本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格JAS以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所（ ） 間伐材等の適用 ・使用する（使用箇所 ） 木材の含水率 ※A種 ・B種 （以降の表に記載のある場合はその数値を優先する） ・製 材 G ・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2] <table><tr><td>施工箇所</td><td>寸法 (mm)</td><td>等級</td><td>形状</td><td>含水率</td><td>保存処理</td><td>間伐材等の適用</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※2級</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><td colspan="7">・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>寸法 (mm)</td><td>等級</td><td>形状</td><td>含水率</td><td>保存処理</td><td>間伐材等の適用</td></tr><tr><td>見え掛り面</td><td></td><td>※上小節</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>見え掛り面以外</td><td></td><td>※小節以上</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7">・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>寸法 (mm)</td><td>等級</td><td>形状</td><td>含水率</td><td>保存処理</td><td>間伐材等の適用</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※1等</td><td></td><td>※10% 以下 ・A種 ・B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7">・JAS 1083（製材）以外の製材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>寸法 (mm)</td><td>材面の品質</td><td>防虫処理</td><td>防腐・防蟻処理</td><td>含水率</td><td>間伐材等の適用</td></tr><tr><td></td><td></td><td>造作材の場合 ※A種</td><td></td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td></td></tr><tr><td colspan="7">・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>品名</td><td>樹種</td><td>寸法 （mm）</td><td>見付け材面</td><td>見付け材面の 品質</td><td>間伐材等の適用</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td></td></tr><tr><td colspan="7">・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>品名</td><td>化粧薄板 の樹種</td><td>芯材の 樹種</td><td>寸法 （mm）</td><td>化粧薄板の 厚さ（mm）</td><td>見付け材面 の品質</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td></tr><tr><td colspan="7">・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>樹 種</td><td>寸 法 （mm）</td><td>見付け材面の品質</td><td>含水率</td><td colspan="2">間伐材等 の適用</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15% 以下</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr></table> <table><tr><td colspan="4">三 建 設 計 有 限 会 社</td><td colspan="3">登録高-6号</td></tr><tr><td colspan="4">高 知 市 知 寄 町 1－5－1 一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1</td><td colspan="3">TEL 883-1761 FAX 883-1633 安 並 和 文</td></tr><tr><td colspan="4">特記仕様書（建築改修工事編）（4）</td><td colspan="3">令和4年度版 高知県土木部建築課</td></tr><tr><td colspan="4">令和 年 月</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築） 工事 令和5年7月改正</td><td></td><td></td><td>A-04</td></tr></table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級		※A種 ・B種																	・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材							施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種			見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種										・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材							施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等		※10% 以下 ・A種 ・B種			・JAS 1083（製材）以外の製材							施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用			造作材の場合 ※A種			※A種 ・B種		・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]							施工箇所	品名	樹種	寸法 （mm）	見付け材面	見付け材面の 品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等		・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材							施工箇所	品名	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 （mm）	化粧薄板の 厚さ（mm）	見付け材面 の品質							※1等 ・2等	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材							施工箇所	樹 種	寸 法 （mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等 の適用						※15% 以下										三 建 設 計 有 限 会 社				登録高-6号			高 知 市 知 寄 町 1－5－1 一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1				TEL 883-1761 FAX 883-1633 安 並 和 文			特記仕様書（建築改修工事編）（4）				令和4年度版 高知県土木部建築課			令和 年 月							後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築） 工事 令和5年7月改正						A-04	性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2～5] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S－4 ・S－5 ・S－6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・（ ） ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・（ ） 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)、室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類（ ） ・かまち戸 かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法（ ） ・ふすま 種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ） ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度） 縁仕上げ（・塗り縁 ・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装）） ・戸ぶすま ・紙張り障子 枠及びくつずりの材料 ・（ ） ・図示 金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5. 8. 1～3][表5. 8. 1～5] ※改修標準仕様書表5. 8. 1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5. 8. 2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5. 8. 3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5. 8. 4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5. 8. 5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による ・（ ） 錠前類、クローザ類の材質等 ※改修標準仕様書表5. 8. 1による マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる [5. 8. 4] その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ※無 ・有 性能 ※改修標準仕様書表5. 10. 1による ・（ ） [5. 10. 3] シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ） pa [5. 11. 2、3] ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ） pa ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※建具表による ・（ ） 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） 屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・（ ） 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z 12又はF 12 ・（ ） ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1	○ガラス ・合わせガラス 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ○強化ガラス 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・熱線吸収板ガラス 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 日射熱遮へい性 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性 ・A 種 ・B 種 ・ガラスの留め材及び溝の大きさ <table><tr><td>建具の種類</td><td>ガラス留め材</td><td>ガラス溝の大きさ（mm）</td></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形</td><td rowspan="4">※建具の製造所の仕様による ・図示</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>※シーリング材 ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材 ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形</td></tr></table> [5. 14. 5] <table><tr><td rowspan="2">表面 形状</td><td rowspan="2">呼び寸法</td><td rowspan="2">厚 さ</td><td colspan="2">色 調</td><td colspan="2">目地幅 (mm)</td><td rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</td><td rowspan="2">防火 性能</td></tr><tr><td>ｸﾘｱ</td><td>乳白</td><td>平積み</td><td>曲面積み</td></tr><tr><td rowspan="4">正方形</td><td>・125×125</td><td>80</td><td>・</td><td>・</td><td>※8～15</td><td>外側</td><td rowspan="4">※6m以下ごとに 幅10～25 ・図示 ・</td><td rowspan="4">※無し ・有り</td></tr><tr><td>・160×160</td><td>・95・125</td><td>・</td><td>・</td><td rowspan="2">・15～25</td><td rowspan="2">※15以下 ・</td></tr><tr><td>・200×200</td><td>・95・125</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・320×320</td><td>95</td><td>・</td><td>・</td><td>内側</td><td>※6以上 ・</td></tr><tr><td rowspan="2">長方形</td><td>・250×125</td><td>80</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・320×160</td><td>95</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ※図示 ・（ ） 化粧目地モルタルの色（ ） シーリングの種類（ ） 金属製化粧カバー 材 質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸 法 ・図示 ・（ ） 形 状 ・図示 ・（ ） ・建築窓ガラス用フィルム <table><tr><td rowspan="2">種類</td><td colspan="2">記号</td><td rowspan="2">その他の性能値等</td></tr><tr><td>内張り用</td><td>外張り用</td></tr><tr><td>※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・</td><td>※G1-1</td><td>・G1-2</td><td></td></tr><tr><td>品質 JIS A5759による</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	ステンレス製	※シーリング材 ・	樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	表面 形状	呼び寸法	厚 さ	色 調		目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	防火 性能	ｸﾘｱ	乳白	平積み	曲面積み	正方形	・125×125	80	・	・	※8～15	外側	※6m以下ごとに 幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り	・160×160	・95・125	・	・	・15～25	※15以下 ・	・200×200	・95・125	・	・	・320×320	95	・	・	内側	※6以上 ・	長方形	・250×125	80	・	・					・320×160	95	・	・					種類	記号		その他の性能値等	内張り用	外張り用	※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・	※G1-1	・G1-2		品質 JIS A5759による			
	施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			※2級		※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		※1等		※10% 以下 ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・JAS 1083（製材）以外の製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		造作材の場合 ※A種			※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	樹種	寸法 （mm）	見付け材面	見付け材面の 品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 （mm）	化粧薄板の 厚さ（mm）	見付け材面 の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹 種	寸 法 （mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				※15% 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
三 建 設 計 有 限 会 社				登録高-6号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
高 知 市 知 寄 町 1－5－1 一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1				TEL 883-1761 FAX 883-1633 安 並 和 文																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
特記仕様書（建築改修工事編）（4）				令和4年度版 高知県土木部建築課																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
令和 年 月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築） 工事 令和5年7月改正						A-04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ステンレス製	※シーリング材 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
表面 形状	呼び寸法	厚 さ	色 調		目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	防火 性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			ｸﾘｱ	乳白	平積み	曲面積み																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
正方形	・125×125	80	・	・	※8～15	外側	※6m以下ごとに 幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・160×160	・95・125	・	・	・15～25	※15以下 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・200×200	・95・125	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・320×320	95	・	・	内側	※6以上 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
長方形	・250×125	80	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・320×160	95	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	記号		その他の性能値等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	内張り用	外張り用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・	※G1-1	・G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
品質 JIS A5759による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・自動ドア開閉装置	[5. 9. 2、3]					・ガラスブロック積み [5. 14. 5]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・自閉式上吊り引戸装置	種 類	駆動装置 の値	防 錆	検出装置 の性能値	検出装置の種類	凍結防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・重量シャッター	引き戸用 駆動装置	※改修標準 仕様書 表5. 9. 1 による	・適用する ・適用しない	※改修標準 仕様書 表5. 9. 3 による	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行う （適用箇所は 建具表による） ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	車椅子使用者用 便房出入口 引き戸用 駆動装置	※改修標準 仕様書 表5. 9. 2 による	・適用する ・適用しない		車椅子使用者用便房 スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用	
								※15%以下	
	・JAS 0701に基づく造作用単板積層材								[6.5.2]
	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質			防虫処理	間伐材等の適用	
					・塗装加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)	・天然木加工	・する ・しない		
	・JAS 0701以外の造作用単板積層材								
	施工箇所	寸法 (mm)	含水率	表面の品質			防虫処理		
				※14%以下	・塗装加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)	・天然木加工	・する ・しない		
	・JAS 3079に基づく直交集成板								[6.5.2]
	施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用	
・「合板の日本農林規格」による普通合板								[6.5.2]	
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質			防虫処理	間伐材等の適用	
	※5.5 ・	※1類 ・2類		広葉樹 針葉樹	・1等 ※2等以上 ※C-D以上 ・	・する ・しない	・する ・しない		
・「合板の日本農林規格」による構造用合板									
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用	
	※12 ・	◎特類 ※1類	・1級 ※2級以上		※C-D以上 ・	・する ・しない			
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板									
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度		単板の樹種名	防虫処理	間伐材等の適用			
			・特類 ・1類		・する ・しない				
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板									
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度		化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理				
			・1類 ・2類		・する ・しない				
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板									
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度		化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理			
			・1類 ・2類			・する ・しない			
・パーティクルボード [G]									
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分		曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性			
		※15		※13タイプ	※P又はM				
・JAS 0360に基づく構造用パネル									
施工箇所	厚さ(mm)	品名							
・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF) [G]									
施工箇所	厚さ	表裏面の状態 (mm)による区分	曲げ強さ による区分	接着剤	難燃性	間伐材等の適用			
造作材の化粧面の釘打ち								[6.5.3]	
※隠し釘打ち ・釘頭埋木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質:)									
ホルムアルデヒドの放散量								[6.5.3、4][6.8.2][6.9.2][6.11.4、5]	
※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。									
・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位()								[6.5.5]	
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理									
適用部位				保存処理性能区分					
				・K2 ・K3 ※K4					
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理									
適用部材		処理の方法							
		※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ・				※JIS K 1571に適合又は同等品			
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位()									
・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位()									

・内部間仕切軸組及び床組	・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)				[6.5.6]
	※杉又は松 ・				
	・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)				
	※杉又は松 ・				
	・窓、出入口その他				[6.5.7]
	※吊元杵、水掛りの下枠及び敷居 ひのき その他 松又は杉 ・				
	・床板張り				[6.5.8]
	・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)				
	※ひのき ・				
	・壁及び天井下地				[6.5.9]
・壁胴縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)					
※杉又は松 ・					
◎軽量鉄骨天井下地				[6.6.2～4]	
野縁等の種類 屋外 ・19形 ※25形 屋内 ※19形 ・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びビンサートの間隔 ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・() 野縁の間隔 ・図示 ・() 既存の埋込みインサート ◎使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・()箇所 確認強度 ※吊りボルトの間隔が900mm以下、かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合400N程度 ・()N ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・() ・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書6.6.4(8)による ・図示 ・天井のふところが3mを超える場合 補強方法 ※図示 ・() ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・()					
◎軽量鉄骨壁下地					
◎ビニル床シート [G]				[6.8.2、3]	
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					
種類					

コンクリート工事

・圧接完了後の試験
外観試験 ※行う（全数）
全数試験 ・行う
※超音波探傷試験
適用箇所 ・図示（ ）

・割裂補強筋
仕 様 ・（ ） ・図示 [8.2.1.6][8.2.2.7]

8-2

○コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.3～4][表8.1.2]

設計基準強度(N/mm²)	スランブ	適用箇所
○24	・15	閉塞部
・	・	
・	・	

軽量コンクリートの設計基準強度 [8.1.3～4][8.9.2]

設計基準強度(N/mm²)	スランブ	適用箇所
○24	○18	床
・	・	

・コンクリートの類別

種 別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 [8.1.3][表8.1.1]

○セメント

種 類 [8.2.5][表8.2.3]
○普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位（ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・高炉セメントB種 [G] 使用部位（ ）
・フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位（ ）
・（ ）

○骨材

アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]
※A ・B ・再生骨材H

○混和材料

○混和剤
種 類 ・改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による ・（ ）
・混和材
種 類 ・改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による ・（ ）

○軽量コンクリート

種 別 [8.9.2][表8.9.1]
・1種 使用部位（ ） ○2種 使用部位（ ）
適用箇所 ・（ ） ・図示 [8.9.1]

・構造体用モルタル

圧縮強度 （ ） フロー値 （ ） [8.2.6]

・無筋コンクリート

適用箇所 [8.2.5][8.11.1]
・標準仕様書 6.14.1(4)による箇所
・標準仕様書 6.14.1(4)以外の箇所
・図示による（ ）
設計基準強度 ・18(N/mm²) ・（ ）
スランブ ・15cm ・18cm ・（ ）

・ひび割れ誘発目地

目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3による ・（ ）（6.6.4）(9.7.3)
間隔・位置・形状 ・（ ） ・図示（6.8.1）

・コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7][表8.1.4]

種 別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種 [表8.1.5]

・打増し厚さ
(打放し仕上げ部)

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) [8.7.8]
・20mm ・（ ）
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ・（ ）

・型枠

せき板の材料 [G] 及び厚さ [8.2.7]
・合板(・12mm ・15mm) ・（ ）
断熱材の兼用 ・行わない ・行う（6.8.2）
MCR工法用シート ・用いる（6.8.2）
打増し厚さ ・20mm ・（ ）
打増し範囲 ・（ ） ・図示
スリーブの材質 [8.2.7][表8.2.6]
・改修標準仕様書 8.2.7(7)(f)及び改修標準仕様書 表8.2.6による ・（ ）
加工及び組立 [8.7.8]
・シアコネクターをセパレーターとして使用（適用箇所： ）

・コンクリートの単位水量測定

実施要領
・構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による
・（ ）

三建設有限会社 登録高-6号
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633
一級建築士第135971 安並和文

・コンクリートの打込み工法等

・鉄骨製作工場

・施工管理技術者

・鋼材

・高力ボルト

・普通ボルト

・溶融亜鉛めっき高力ボルト

・アンカーボルト

部位等のコンクリートの打設工法の指定 [8.2.1.8][8.2.3.5]

補強工事	工法の種類	適用箇所
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・	・図示による（ ）
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
	・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による（ ）
・	・工法指定なし	
	・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	
	・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	

鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.2.3.6]
柱頭柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・（ ）
柱頭柱脚の隙間寸法 ・（ ） ・図示
既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ ・（ ） ・図示
・（ ） ・図示 [8.2.1.10][8.2.3.7]

鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（ ）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する工場(標準仕様書 7.1.1 以外の適用範囲に限る)

・適用する ・適用しない [8.1.6]

種類等 [8.2.8][表8.2.7]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規 格
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による

有効細長比(圧縮材に限る) ・（ ） ・図示

高力ボルトの区分 [8.2.9][8.14.2]
・トルシア形高力ボルト
セットの種類 ・2種(S10T) ・（ ）
・JIS形高力ボルト
セットの種類 ・2種(F10T) ・（ ）
高力ボルトの径 ・（ ） ・図示 [8.2.9]
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による [8.13.2]
・（ ）
すべり係数試験 ※行わない ・行う
試験方法等 ・（ ） ・図示 [8.14.2]

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
・標準仕様書 表7.2.3による ・（ ）
座 金 ・標準仕様書 7.2.3(4)による ・（ ） (7.2.3)
ボルトの径 ・（ ） ・図示 (7.2.3)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
・構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による
・（ ）

セットの種類 [8.2.9][8.20.4]
・1種(F8T相当) ・（ ）
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・（ ） ・図示 [8.2.9]
溶融亜鉛めっき高力ボルトのボルト孔の径 [8.13.8]
・審査（評定又は大臣認定）を受けた内容による
・（ ）

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
・構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による
・（ ）

摩擦面の処理 [8.20.5]
・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
・（ ）

適 用 (7.2.4)(7.10.3)
・構造用アンカーボルト
材 質 ・ABR400 ・ABR490
適用箇所 ・（ ） ・図示
・建方用アンカーボルト
材 質 ・SS400 ・（ ）
適用箇所 ・（ ） ・図示
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
・構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による
・（ ）

・溶接材料

・ターンバックル

・床構造用のデッキプレート

・スタッド

・柱底均しモルタル

・仮組

・溶接接合

特記仕様書（建築改修工事編）（7）
令和 年 月
後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築） 工事
令和5年7月改正

高知県土木建築課
A-07

・入熱、バス間温度の溶接条件 ・溶接部の試験 ・錆止め塗装 ・耐火被覆 ・建方精度 ・アンカーボルトの保持及び埋込み工法	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示 ・構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4による 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	・軽量形鋼構造 ・溶融亜鉛めっき （基礎、主要構造部及びその他の構造耐力上主要な部分に限る） ・鉄骨ブレース設置後の仕上げ	接合部（ボルト接合の場合） ・普通ボルト接合 （ 7.11.2 ） 種別等 亜鉛めっきの種別 材 料 A種 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板 素地ごしらは、JIS H 8641 による 適用箇所 （ ） ・図示 （ 8.22.9 ）	ひび割れ部改修 ・行わない ・行う 範 囲 （ ） ・図示 種 類 ・改修標準仕様書 4.1.4(1)、(2)による 連続繊維補強材の引張強度試験 ・行わない ・行う 引張強度試験 ※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による 試験数量 （ ） ・図示 連続繊維補強材の付着強度試験 ・行わない ・行う 付着強度試験 ※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による 試験数量 （ ） ・図示 （ 8.24.7 ） ・連続繊維補強後の仕上げ 8-7 耐震スリット新設工事 ・スリット的方式 （ 8.25.2 ） ・スリットの施工 ・スリット充填材 耐火材 ・使用しない ・使用する 使用箇所及び仕様 （ ） ・図示 遮音材 ・使用しない ・使用する 使用箇所及び仕様 （ ） ・図示 8-8 土工事及び地業工事 ・埋戻し及び盛土 材料及び工法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書（施工条件明示）による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書（施工条件明示）による。 ※構外搬出 処理場所（ ） 所在地（ ） 距 離（ ） km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。 搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・構内指定場所に敷き均し ・構内指定場所に堆積 ・山留めの撤去 山留め壁等の存置 ・行う ・行わない （ 8.28.3 ） ・騒音振動の防止 低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。 ・杭地業 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） （ ） ・図示 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 （ ） ・図示 ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 （ ） ・図示 ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 （ ） ・図示 ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 （ ） ・図示 溶接部の確認 （ ） ・図示		
	節 検査水準	・全て ・第6水準	（ ） ・全数 適用箇所 ・図示による（ ） ・工事現場溶接の場合 ・全数 適用箇所 ・図示による（ ） H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 独立行政法人建築研究所監修「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4「受入検査」e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観検査の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。		材料等 ○金属系アンカー 引張耐力 （ ） kN ・図示 せん断耐力 （ ） KN ・図示 セット方式 ※本体打込み式改良型 （ ） 接合筋の種類、径、長さ （ ） ・図示 性能確認試験 ・実施する 試験方法及び試験数 （ ） ・図示 ・接着系アンカー 引張耐力 （ ） kN ・図示 せん断耐力 （ ） KN ・図示 セット方式 ※カプセル方式の回転・打撃式 （ ） 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ （ ） ・図示 アンカー筋の種類 ・改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 ・金ねじボルト アンカー筋の新設壁内への定着長さ （ ） ・図示 性能確認試験 ・実施する 試験方法及び試験数 （ ） ・図示	（ 8.24.4 ） （ 8.12.4 ） （ 8.12.4 ） （ 8.12.7 ）
	種 別	（ 8.18.2～8 ）			8-5	
	種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所（部位・部分）		グラウト材 ・無収縮グラウト材（セメント、混和剤、砂は無収縮モルタルに準ずる） 無収縮グラウトの品質及び試験方法 ブリーシング 練り混ぜ2時間後のブルーディング率：2.0%以下 無収縮性 材 齢 7 日 収縮しない 圧縮強度 材 齢 3 日 20N/mm ² 以上 材 齢 2 8 日 40N/mm ² 以上 塩化物量 0.30kg/m ³ 以下 試験方法 1）日本道路公団規格（JHS）312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2）塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	（ 8.2.12 ）
	性能	適用箇所（部位・部分）			8-6	
	性能	適用箇所（部位・部分）			連続繊維補強工事	
	・30分耐火					
	・1時間耐火					
	・2時間耐火					
	・3時間耐火					
・建方精度	※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表[工事現場]による （ 7.10.2 ）					
・アンカーボルトの保持及び埋込み工法	構造用アンカーフレームの形状及び寸法 （ ） ・図示 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 （表 7.10.1） 種別 ・A種 ・B種					
三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号				
高知市知寄町1-5-1 一級建築士第135971		TEL 883-1761 FAX 883-1633 安 並 和 文				

○ トイレブース

・ 視覚障害者用床タイル

○ 手すり

○ 表示

・ ブラインド

・ ロールスクリーン

・ カーテン

・ カーテンレール

・ ブラインドボックス及びカーテンボックス

(20. 2. 5)

パネル表面材の種類

脚部

ドアエッジ

形状

材質

○ メラミン樹脂系化粧板
・ ポリエステル樹脂系化粧板

※ 幅木タイプ
・

・ 標準
○ R

○ アルミニウム製
・ ステンレス製
・ 表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

(11. 2. 2) (19. 2. 2)

施工箇所

種類

寸法 (mm)

再生材料の適用 G

厚さ (mm)

屋内

・ 塩化ビニル製

・ 磁器質タイル
・ レジコンクリート製

※ 300×300
※ 300×300

・
・

・ 7.0
・

屋内

・ 磁器質タイル
・ レジコンクリート製

・ セツ器質タイル
・ コンクリート製

・ 300×300
・ 300×300

・
・

・
・

※ 黄色
・
ブロックパターンは JIS T 9251 による

(20. 2. 6)

材種

表面仕上げ

直径 (mm)

取付箇所

備考

※ 集成材

※ クリアラッカー
・

・ 35
・ 45

・
・

・ ステンレスパイプ
・ 鋼製パイプ
○ ビニル製ハンドレール

・
・
・

衝突防止表示
形状・寸法 (・30φ
・)
材質 (・ステンレス製
・)
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
※図示 案内用図記号はJIS Z 8210による。

(20. 2. 11)

形 式

操作方法

種 類

スラットの材種

スラット幅 (mm)

ボックス・レールの材種

寸法・取付箇所

※ 横形

・ 手動

※ ギヤ式
・ コード式
・ 操作棒式

※ アルミニウム合金製 G
・

※ 25
・

※ 鋼製
・

・ 図示
・

・ 縦形

・ 手動
・ 電動

※ 2本操作コード式
・ 1本操作コード式

・ アルミスラット
・ クロススラット

・ 80
・ 100

アルミニウム合金製
・

・ 図示
・

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工
ブラインドの幅・高さ ※建具寸法
・ 図示
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品 G

(20. 2. 14)

材 種

操作方式

遮光性

幅・高さ (mm)

取付箇所

備考

・ ガラス繊維製
・ 合成・天然繊維製
・ 木製

・ 電動式
・ スプリング式
・ チェーン式

・ 1 級
・ 2 級
・ 3 級

※ 図示
・

・ 図示
・

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品 G

(20. 2. 15)

形式

開閉操作

ひだの種類

きれ地の種別、品質、特殊加工等

取付箇所

備考

・ シングル
・ ダブル

・ 片引き
・ 引分け

・ 手引き
・ ひも引き
・ 電動

・ フランスひだ
・ 箱ひだ、つまひだ
・ プレーンひだ、片ひだ

・ シングル
・ ダブル

・ 片引き
・ 引分け

・ 手引き
・ ひも引き
・ 電動

・ フランスひだ
・ 箱ひだ、つまひだ
・ プレーンひだ、片ひだ

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品 G
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上
・

(20. 2. 16)

材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成型材
強さによる区分 ※ 10-90
仕上げ ※ アルマイト
形状 ※ 角形

・ ステンレス製
・

溝型×深さ (mm)
・ 90×150
・ 120×80
・ 120×150
・ 150×80
・ 図示

材質
・ 集成材 (仕上げ：
・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14. 2. 11による表面処理の種別
・ BC-1
・ BC-2
・
色合い ・ 標準色 ・ 特注色
・ 鋼製 (仕上げ：
・)

○ 天井点検口

・ 床点検口

・ 耐震スリット

・ 流し台ユニット

・ フェンス

・ 洗面カウンター

・ 路面標示用塗料

・ 床用防じん塗料塗り

○床見切材

材種

寸法

形式

外枠

内枠

※ アルミニウム製
・

○ 450×450
・ 600×600
・

○ 一般形
・ 屋内外用
・ 屋内用
・ 気密形

○ 額縁タイプ
・ 目地タイプ

○ 額縁タイプ
・ 目地タイプ

材種

寸法

形式

備考

・ アルミニウム製
・ ステンレス製
・ 鋼製

・ 450×450
・ 600×600
・

・ 一般形
・ 密閉形

・ 屋内外用
・ 屋内用

・ 鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

方 向

幅 (mm)

タイプ

耐火性能

防水性能

備考

・ 垂直方向
・ 水平方向

・ 25
・

※ 完全 (全貫通型)
・

・ 耐火型
・ 非耐火型

・ 有り
・ 無し

目地

目地

内壁

外壁

目地材

・ シーリング材(見え掛かりのみ)
・

・ シーリング材(見え掛かりのみ)
・ シーリング材 (内外とも)

目地寸法 (mm)

※スリット幅×深さ10
・

※スリット幅×深さ10
・

目地材の材質は標準仕様書表9. 7. 11による

材種

寸法 (mm)

備考

W

D

H

・ 流し台

・ 1200
・ 1500
・ 1800

・ 550
・ 600
・ 650

・ 800
・ 850

市販品
トラップ付き
天板ステンレス製

・ コンロ台

・ 600

・ 550
・ 600
・ 650

・ 620
・ 670

市販品
バックガード有り
天板ステンレス製

・ つり戸棚

・ 1200
・ 900

・ 450
・ 700

・ 500
・ 700

市販品

・ 水切り

・ 1200
・ 900
・ 600

・
・

・
・

市販品
ステンレス製
・ 1段式
・

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※ 図示
・

フェンスの種類

・ ビニル被覆エキスパンドフェンス
・ 樹脂塗装メッシュフェンス
・ 鋼管フェンス
・ アルミフェンス

高さ
・ 図示
・

材 種

メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材)
奥行き (mm)
・ 約 450
・ 約 600

・ 人工大理石

JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類

施工

適用

色

幅 (mm)

塗布厚さ (mm)

・ 1 種 G

常温

液状

・ 白
・

・ 150
・ 100

・ 1.0
・

・ 2 種 G

加熱

粉体状

※ 3 種 1 号

溶融

粉体状

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

材質

水性アクリル系樹脂塗料 (※ 標準色
・)
仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り)
塗布量 主剤 2 回塗とし、総塗布量は0. 2 5 kg/m2以上とする

SUS製 t=1. 2

4-1 外壁改修工事 (外壁改修フロー及び数量)

外壁改修フロー及び数量

・ コンクリート打渡し仕上げ外壁の場合

外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)

旧仕上げの撤去
・ 全面 ※ 図示

ひび割れ部改修

欠損部改修

シーリング改修

樹脂注入
工法 (注1)

Uカット材
充填工法

シール工法

充填工法

100×
300×
30mm
程度

鋼鉄筋部
補修工法

幅100mm
程度

シーリング再充填工法

mm×
mm

mm×
mm

下地調整材
・ 全面 ※ 図示

仕上塗材仕上
・ 全面 ※ 図示

・ モルタル塗り仕上げ外壁の場合

外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)

旧仕上げの撤去
・ 全面 ※ 図示

ひび割れ部改修

欠損部改修

浮き部改修

シーリング改修

モルタル撤去
・ しない
・ する

樹脂注入
工法 (注1)

Uカット材
充填工法

シール工法

充填工法

モルタル
塗替工法

部分モルタル
樹脂

全面モルタル
樹脂

全面モルタル
樹脂

シーリング再充填工法

mm×
mm

mm×
mm

下地調整材
・ 全面 ※ 図示

仕上塗材仕上
・ 全面 ※ 図示

・ タイル張り仕上げ外壁の場合

外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)

ひび割れ部改修

欠損部改修

浮き部改修

シーリング改修

目地改修

タイル撤去
・ しない
・ する

樹脂注入
工法 (注1)

Uカット材
充填工法

タイル部分
張替工法

タイル
張替工法

部分エポキシ
樹脂

全面エポキシ
樹脂

全面ポリマー
セメントペースト

シーリング
再充填工法

目地ひび
割れ改修

伸縮目地
改修

mm×
mm

mm×
mm

注1) ひび割れ幅 (mm) が、A) 0.2以上1.0未満、B) 0.2以上0.3未満、C) 0.3以上0.5未満、D) 0.5以上1.0未満を示す
A) は自動式低圧エポキシ樹脂注入工法を示し、
B) ・ C) ・ D) は手動式エポキシ樹脂注入工法、機械式エポキシ樹脂注入工法を示す

三 建 設 計 有 限 会 社

登録高-6号

高 知 市 知 寄 町 1-5-1
一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1

TEL 883-1761
安 並 和 文

FAX 883-1633

特記仕様書 (建築改修工事編) (10)

令和 4 年度版

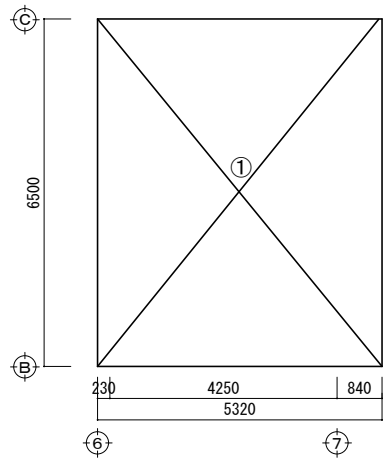
高知県土木部建築課

令和 年 月

後免野田小学校 3 階トイレ洋式化改修工事 (建築) 工事
令和 5 年 7 月 改正

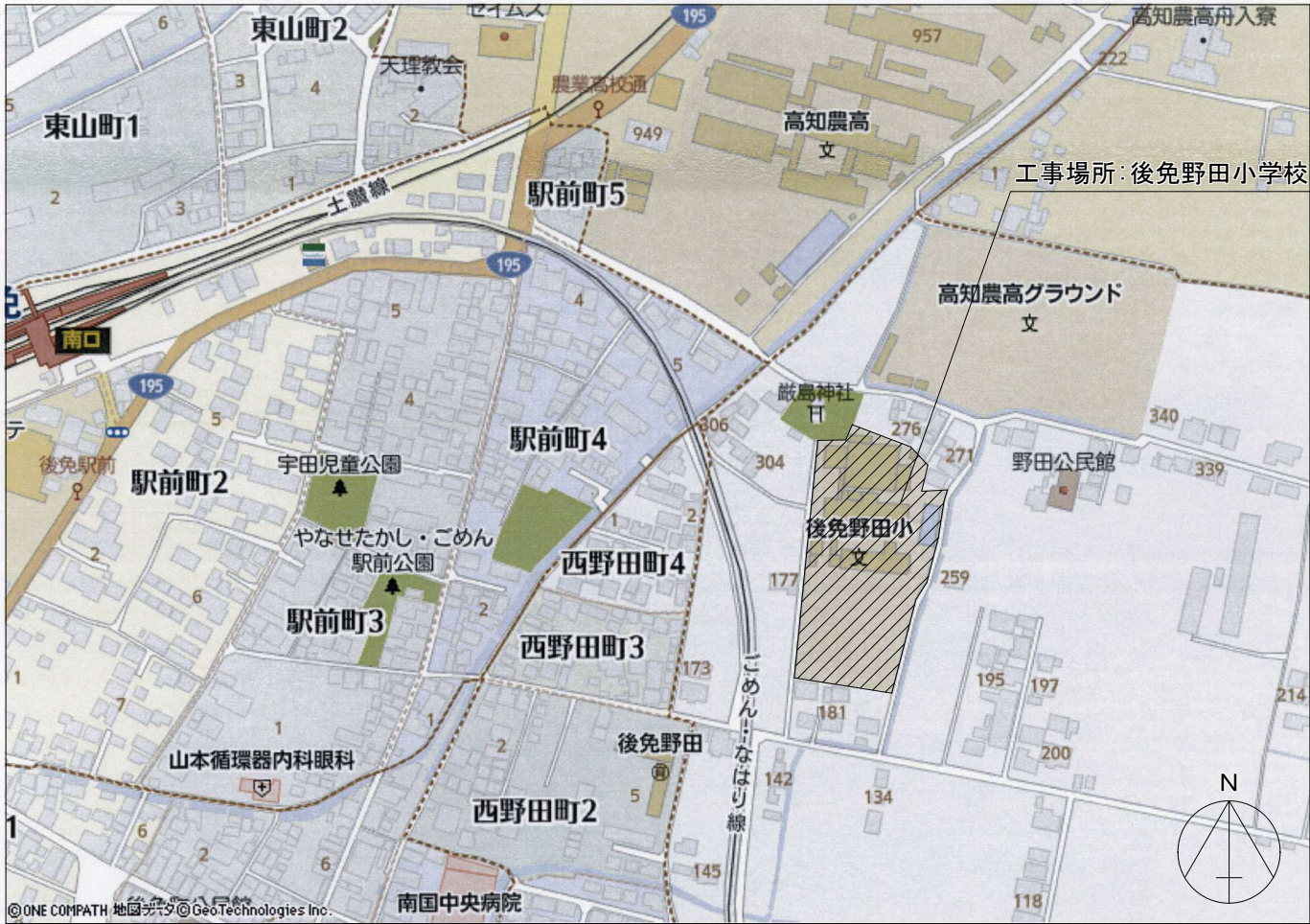
A-10

工 事 概 要
特別教室棟3階便所の洋式化、床ドライ工事、2階便所天井張替 改修工事



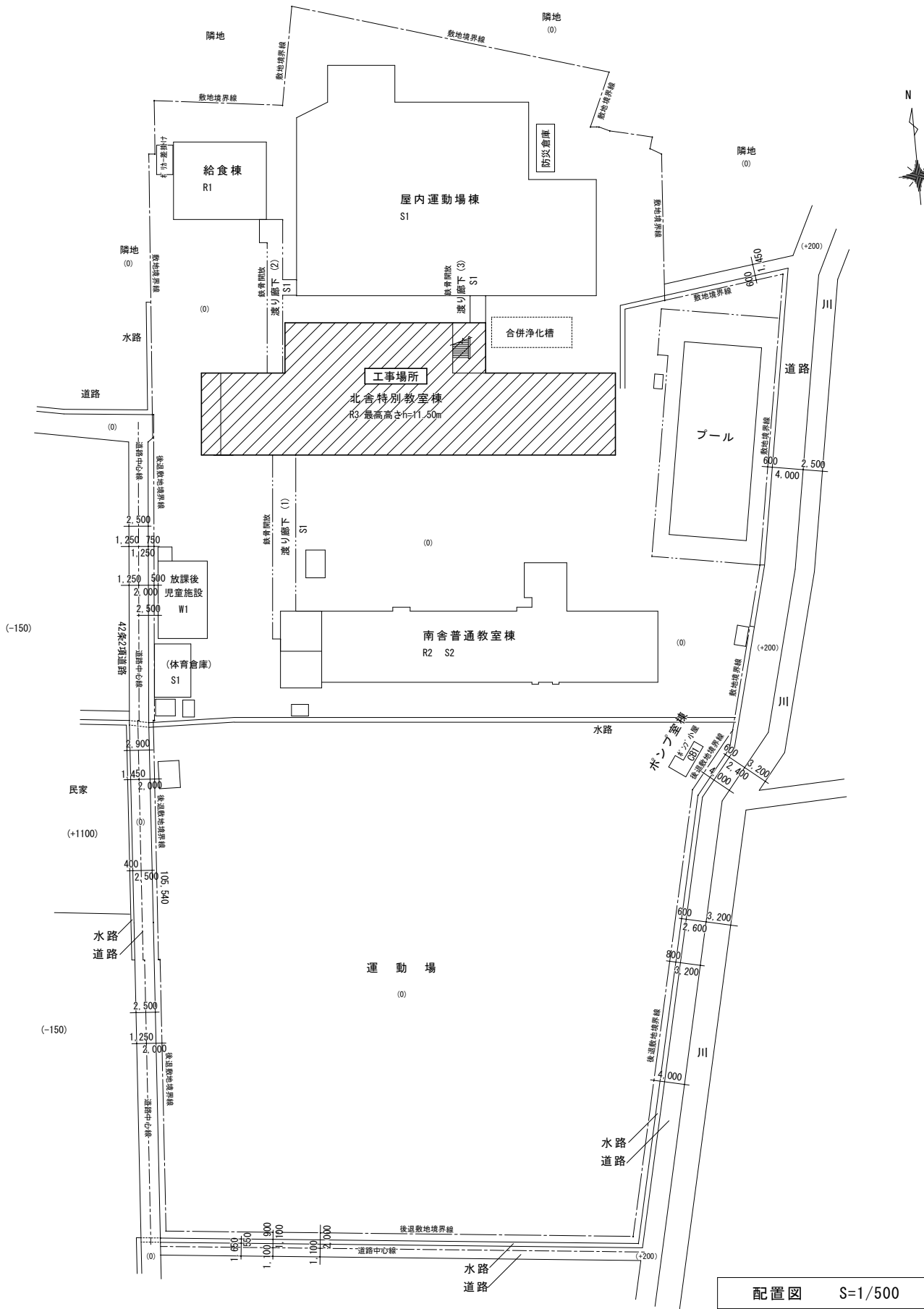
3 階改修部求積図 S=1/100

改修面積表			
3 階	①	6.50×5.32	34.58 m ²
基準床面積			35 m ²



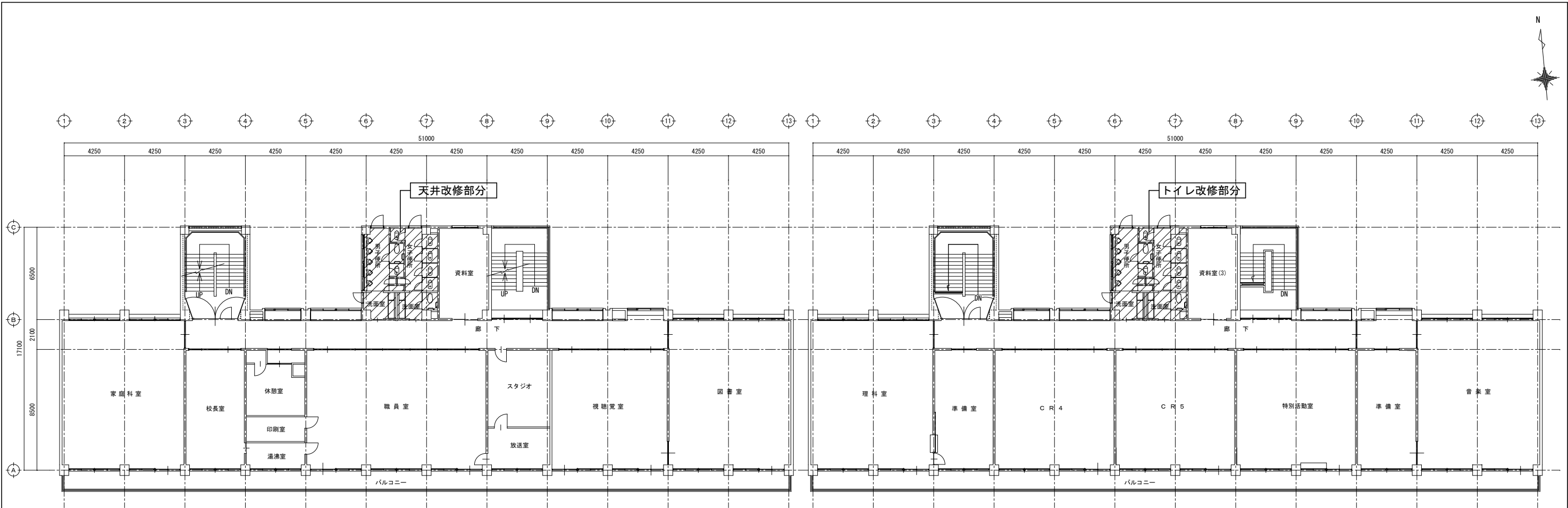
高知県南国市下野田276-2

付近見取図



配置図 S=1/500

備考 A2→A3(71%に縮小)	後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）	設計図	三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号	図面名称 工事概要・付近見取図・配置図・3階改修部求積図			
			高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:500	年 月 日	担当	製図
			一級建築士第135971	安 並 和 文					
									NO. A 11



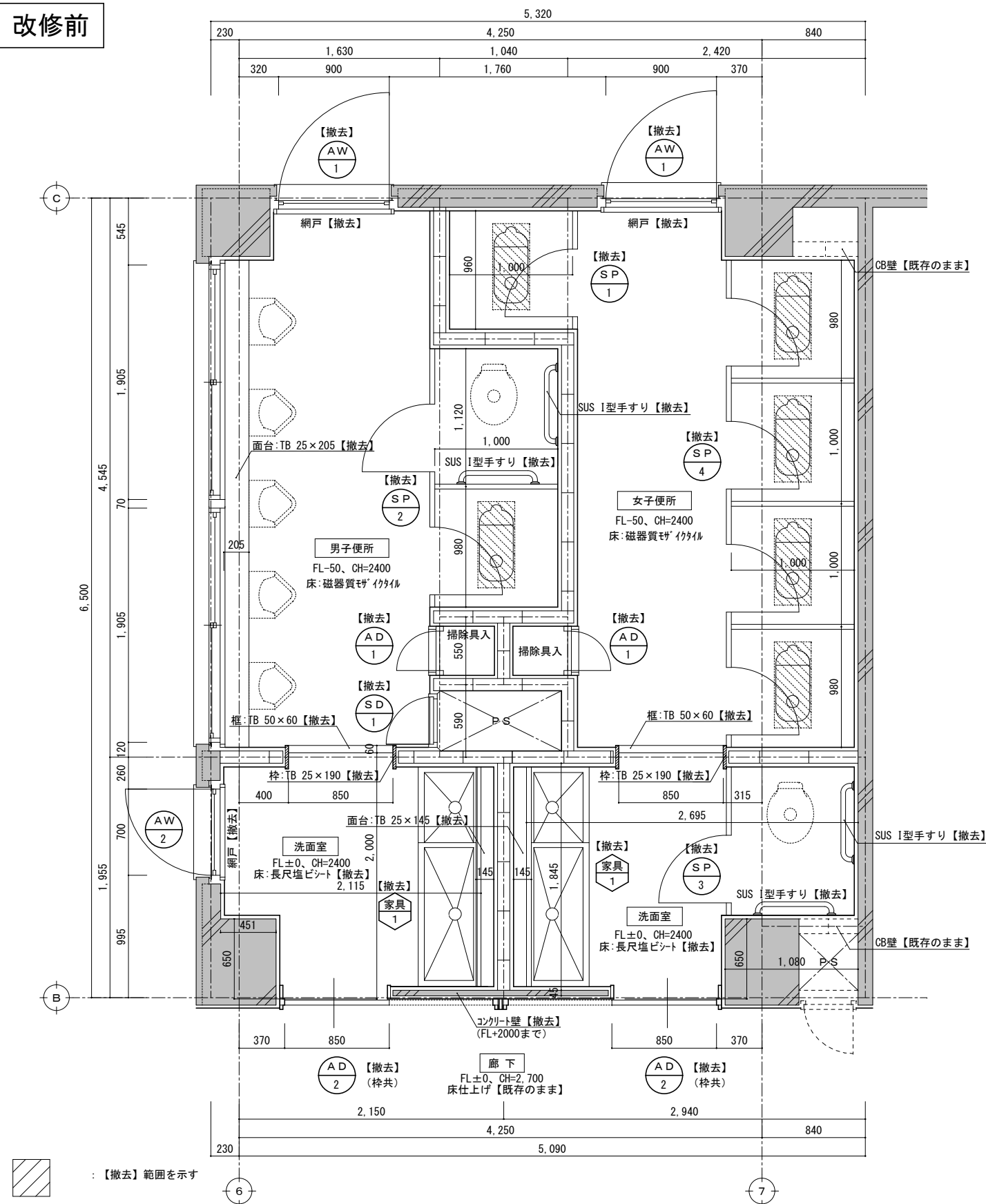
2 階平面図 S=1/200

3 階平面図 S=1/200

内 部 仕 上 表

	室名	符号	床仕上	床下地	符号	巾木	符号	壁仕上	壁下地	符号	天井仕上	天井下地	廻縁	天井高さ	備考
改修前	男子便所		磁器質モザイクタイル	モルタル下地			⑩ ⑪	磁器質100角タイル 磁器質100角タイル【撤去】	コンクリート下地 CB化粧積み【撤去】	⑳	石綿けい酸カルシウム板 t 6 VP【撤去】	LGS天井下地組【撤去】		2,400	便器【撤去】 450角天井点検口【撤去】(2階)
	女子便所		磁器質モザイクタイル	モルタル下地			⑩ ⑪ ⑬	磁器質100角タイル 磁器質100角タイル【撤去】 磁器質100角タイル	コンクリート下地 CB化粧積み【撤去】 CB化粧積み	⑳	石綿けい酸カルシウム板 t 6 VP【撤去】	LGS天井下地組【撤去】		2,400	便器【撤去】
	掃除具入(共通)		モルタルこて磨き【撤去】	モルタル下地			⑩ ⑬	モルタルこて磨き【撤去】	CB化粧積み【撤去】	⑳	石綿けい酸カルシウム板 t 6 VP【3階のみ撤去】	LGS天井下地組【3階のみ撤去】			モップ掛けステンレスパイプ、ステンスフック【撤去】 ステンス雑巾掛け【撤去】
	洗面室(共通)		長尺塩ビシート【撤去】	モルタル下地			⑩ ⑪ ⑫	磁器質100角タイル 磁器質100角タイル【撤去】 磁器質100角タイル【撤去】	コンクリート下地 CB化粧積み【撤去】 コンクリート壁【撤去】	⑳	石綿けい酸カルシウム板 t 6 VP【撤去】	LGS天井下地組【撤去】		2,400	便器【撤去】、ステンス流し台【撤去】 450角天井点検口【撤去】(2階)
	廊下		ラフローリング t 15	鋼製床組+コンパネ t 15	①	木製幅木 H=100 OP	⑭ ⑮	モルタルこて磨き【撤去】 モルタルこて磨き EP	コンクリート壁【撤去】 コンクリート下地	⑳	化粧石こうボード t 9	LGS天井下地組		2,700	室名札【撤去】
改修後	男子トイレ		超防汚性ビニル床シート張り t 2.0	軽量コンクリート下地	①	床仕上げ 巻上げ H=100	⑩ ⑪ ⑫ ⑮	化粧けい酸カルシウム板直張り t 6 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (耐水合板 t 12下張り) 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) + 亜鉛鋼板 t 1.6	LGS壁下地組 LGS壁下地組 LGS壁下地組	⑳	GB-D t 9.5張り	LGS天井下地組	塩ビ (突付)	2,350	【新設】450角天井点検口(2階) 室内空気中の化学物質の濃度測定
	女子トイレ		超防汚性ビニル床シート張り t 2.0	軽量コンクリート下地	①	床仕上げ 巻上げ H=100	⑩ ⑪ ⑫ ⑮	化粧けい酸カルシウム板直張り t 6 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (耐水合板 t 12下張り) 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) + 亜鉛鋼板 t 1.6	LGS壁下地組 LGS壁下地組 LGS壁下地組	⑳	GB-D t 9.5張り	LGS天井下地組	塩ビ (突付)	2,350	室内空気中の化学物質の濃度測定
	洗面室		超防汚性ビニル床シート張り t 2.0	軽量コンクリート下地	①	床仕上げ 巻上げ H=100	⑩ ⑪ ⑫ ⑮	化粧けい酸カルシウム板直張り t 6 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (耐水合板 t 12下張り) 化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) + 亜鉛鋼板 t 1.6	LGS壁下地組 LGS壁下地組 LGS壁下地組	⑳	GB-D t 9.5張り	LGS天井下地組	塩ビ (突付)	2,350	【新設】手洗い台 【新設】450角天井点検口(2階)
	廊下		【既存のまま】		② ③	木製幅木 H=100 OP 【既存のまま】 木製幅木 H=100 EP塗	⑬ ⑭	EP塗 GB-R t 12.5×2張り EP塗	モルタル面 LGS壁下地組		【既存のまま】			2,700	【新設】サイン

改修前



3 階平面詳細図 S=1/30
既存衛生器具は全て【撤去】

備考 A2→A3(71%に縮小)
※衛生器具の【撤去】は、設備工事

後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）

設計図

三 建 設 計 有 限 会 社

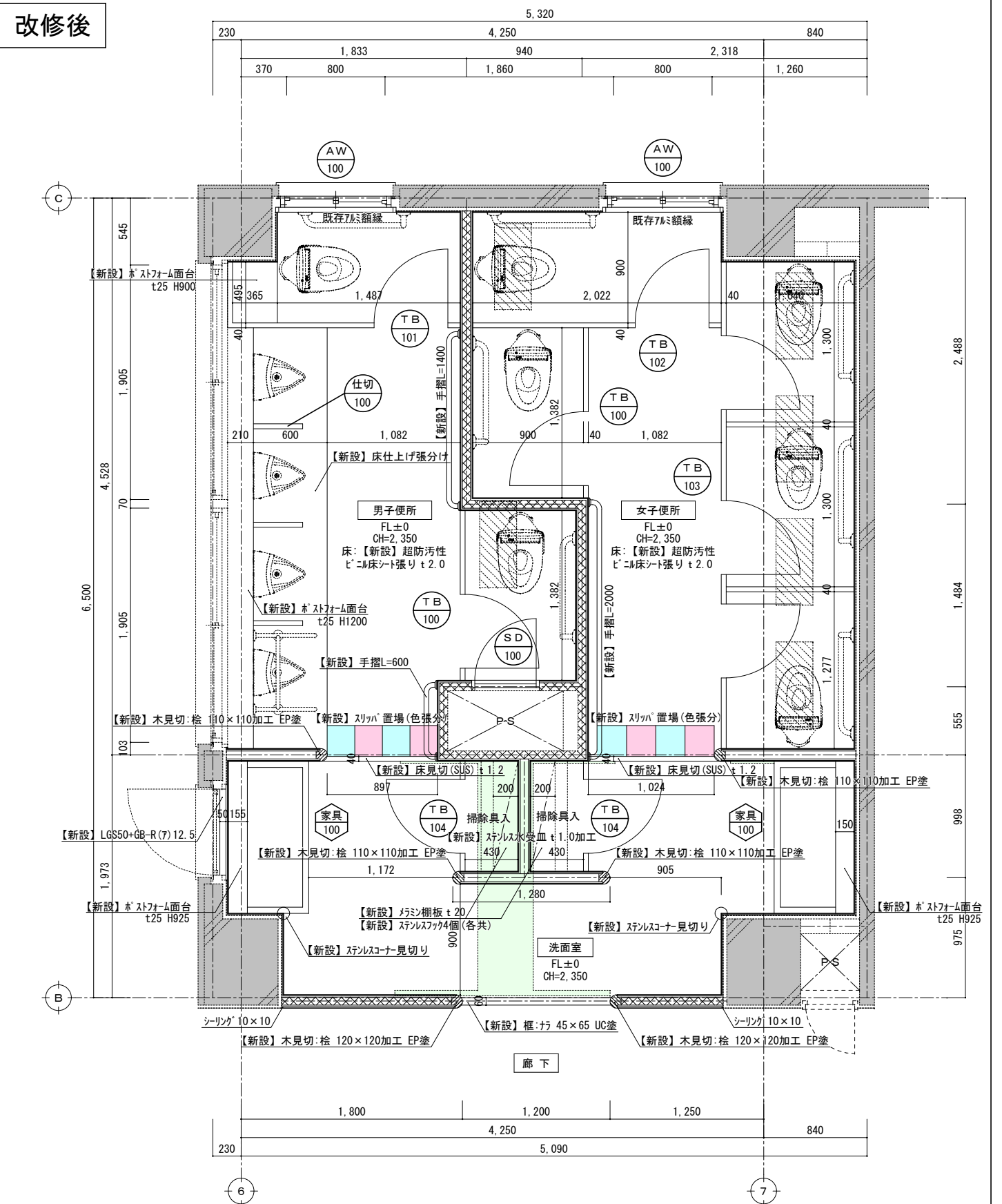
登録高-6号

図面名称	3階平面詳細図（改修前・後）
------	----------------

高知市知寄町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633
一級建築士第135971	安並和文	

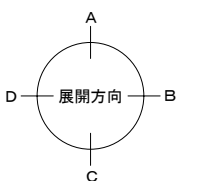
縮尺	S=1:30		NO.
年 月 日	担当	製図	

A — 13

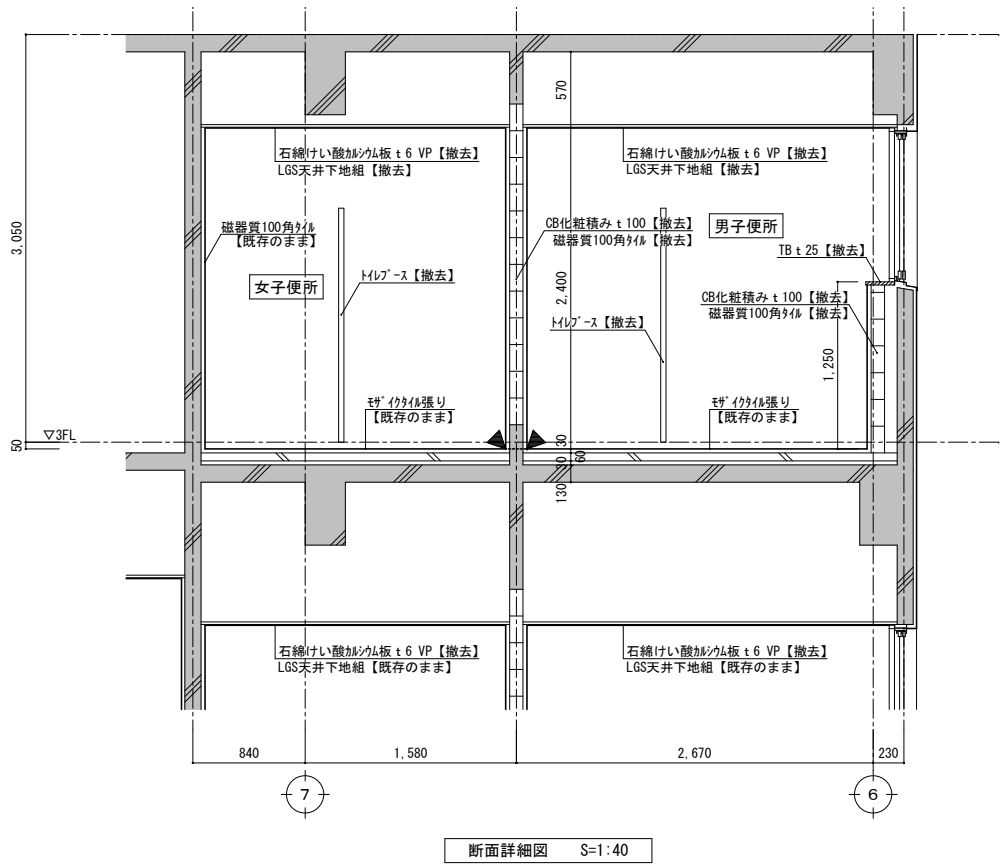
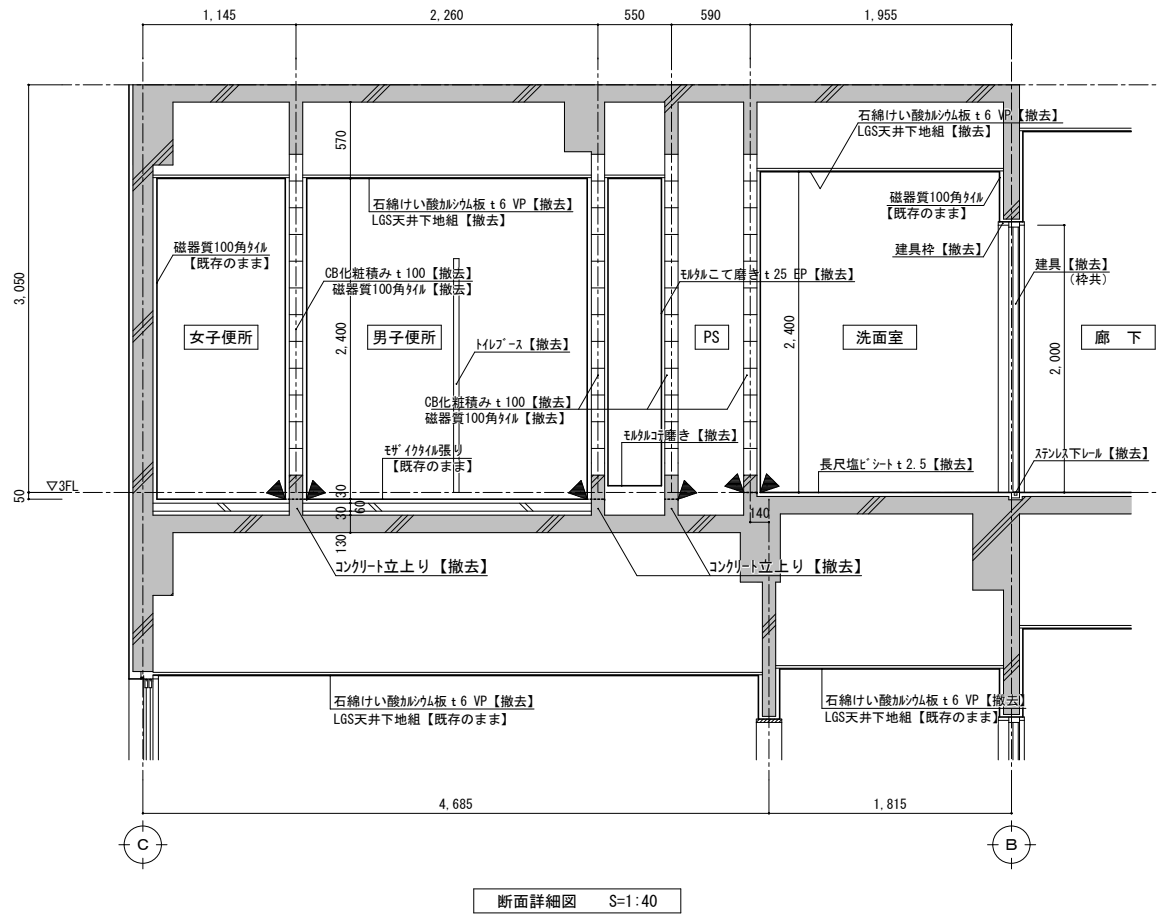


3 階平面詳細図 S=1/30

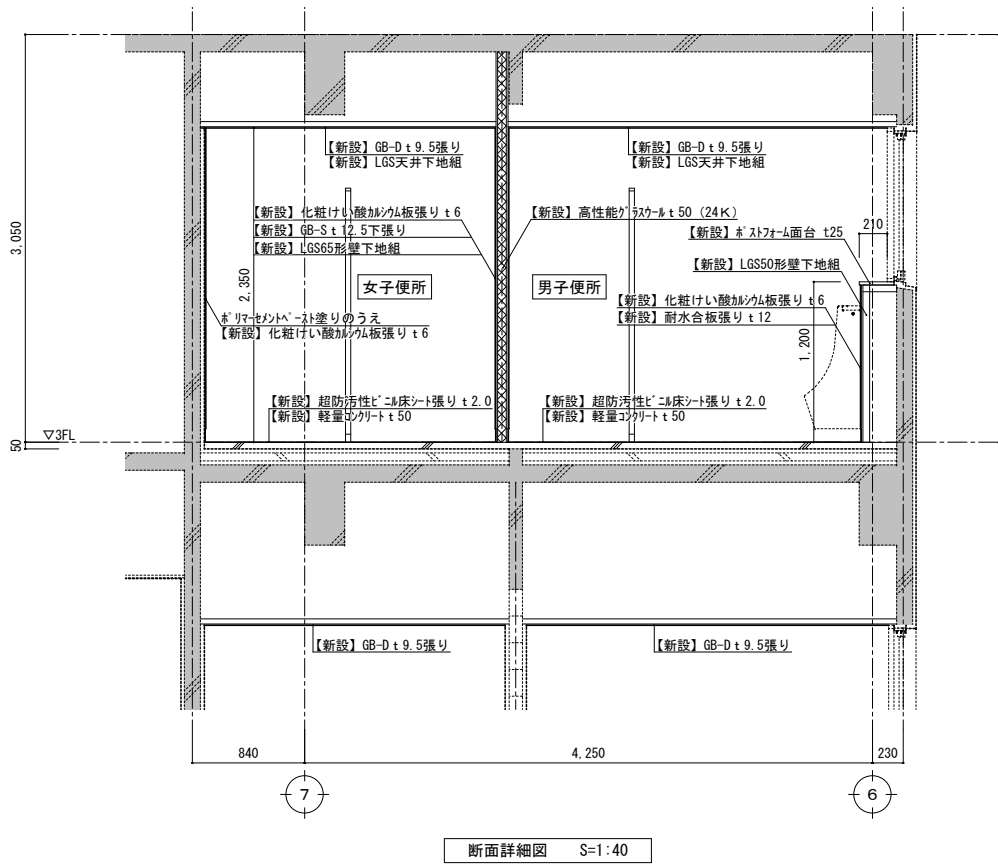
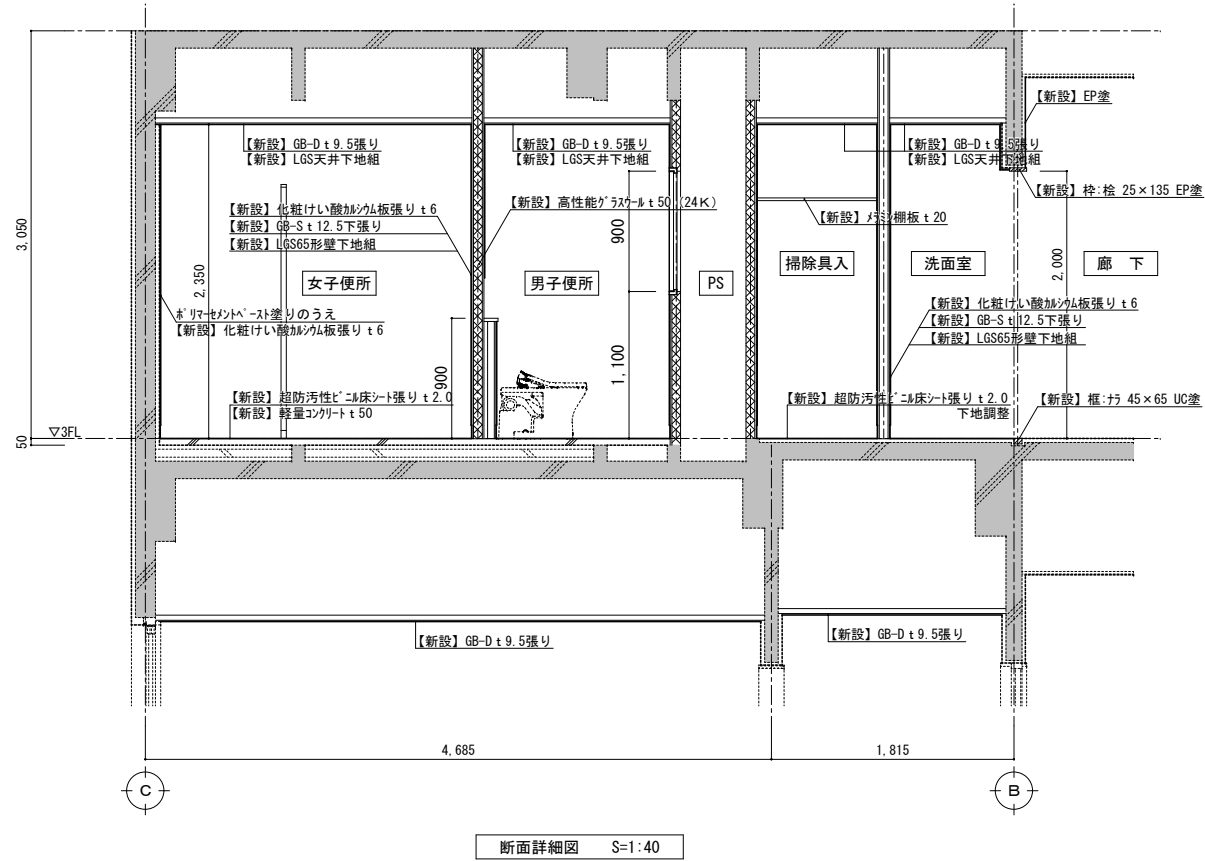
 : 外周補修部分を示す
 : 開口塞ぎを示す
 600×300 (6カ所)
 : グラスール充填を示す
 (t 50 24kg/m³)



改修前



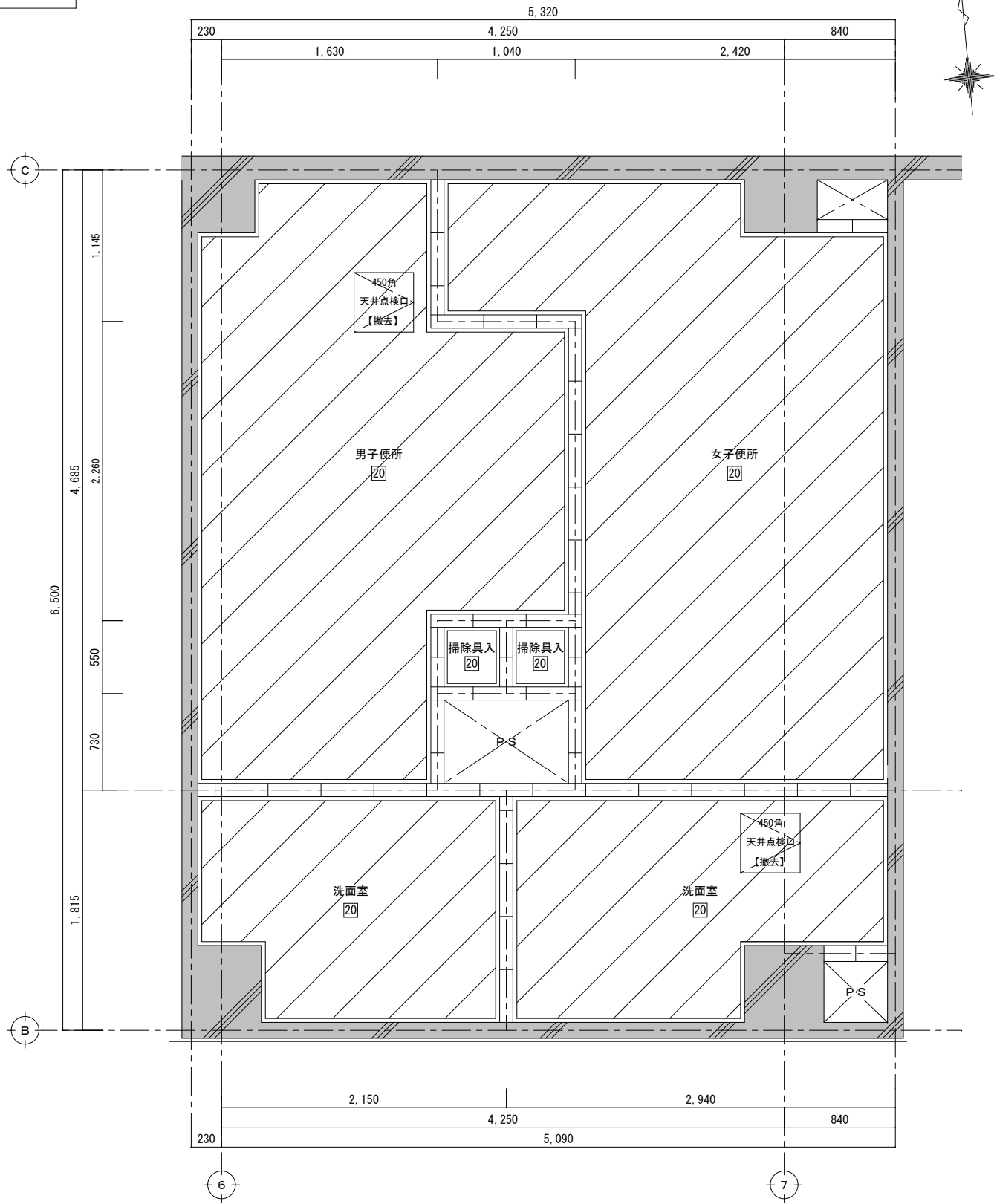
改修後



▶ : カッター切を示す

備考 A2→A3(71%に縮小)			後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事(建築)		設計図		三 建 設 計 有 限 会 社		登録高-6号		図面名称 断面詳細図(改修前・後)	
※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする							高 知 市 知 寄 町 1-5-1		TEL 883-1761 FAX 883-1633		縮尺 S=1:40	
※コンクリート立上り撤去部は、防錆処理をおこなうこと							一 級 建 築 士 第 135971		安 並 和 文		年 月 日 担当	
											製図	
											NO. A 14	

改修前



2階天井伏図 S=1/30

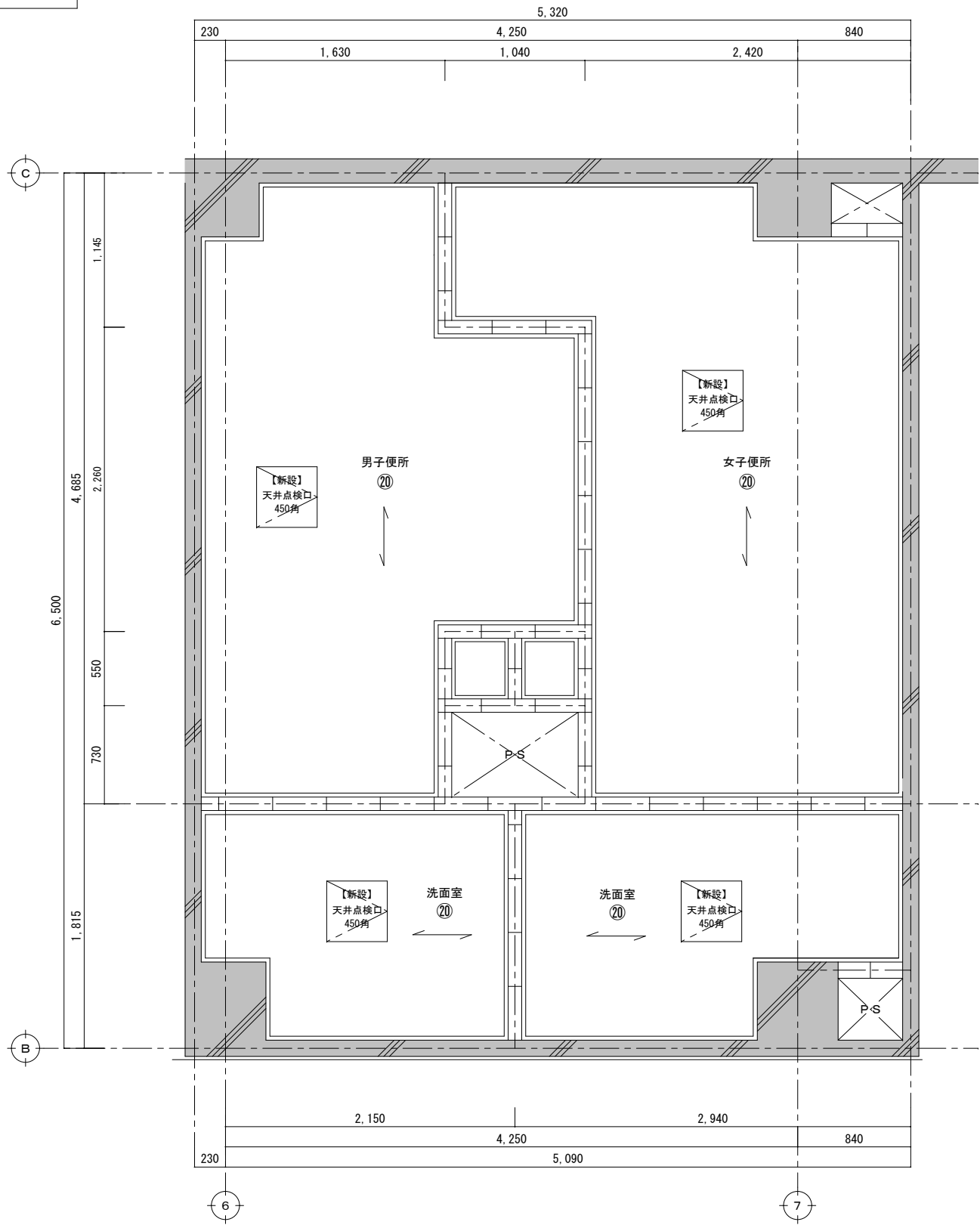
廻縁【撤去】

- ：【撤去】範囲を示す
- ：天井点検口【撤去】を示す
(2カ所)
- ：RC壁を示す
- ：CB壁 t 100を示す

天井仕上表

符号	下 地	仕 上 げ
20	LGS天井下地組【撤去】	石綿けい酸加ｼｰﾙ板 t 6 VP【撤去】

改修後



2階天井伏図 S=1/30

※廻縁は塩ビ製（突付）とする

- ：天井材張り方向を示す
- ：【新設】天井点検口を示す
(4カ所)

天井仕上表

符号	下 地	仕 上 げ
20	LGS天井下地組	GB-D t 9.5張り

備考 A2→A3(71%に縮小)

※照明器具・換気扇撤去は、設備工事とする

後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）

設計図

三 建 設 計 有 限 会 社

登録高-6号

図面名称

2階天井伏図（改修前・後）

高知市知寄町1-5-1

TEL 883-1761

FAX 883-1633

縮尺 S=1:50

年 月 日

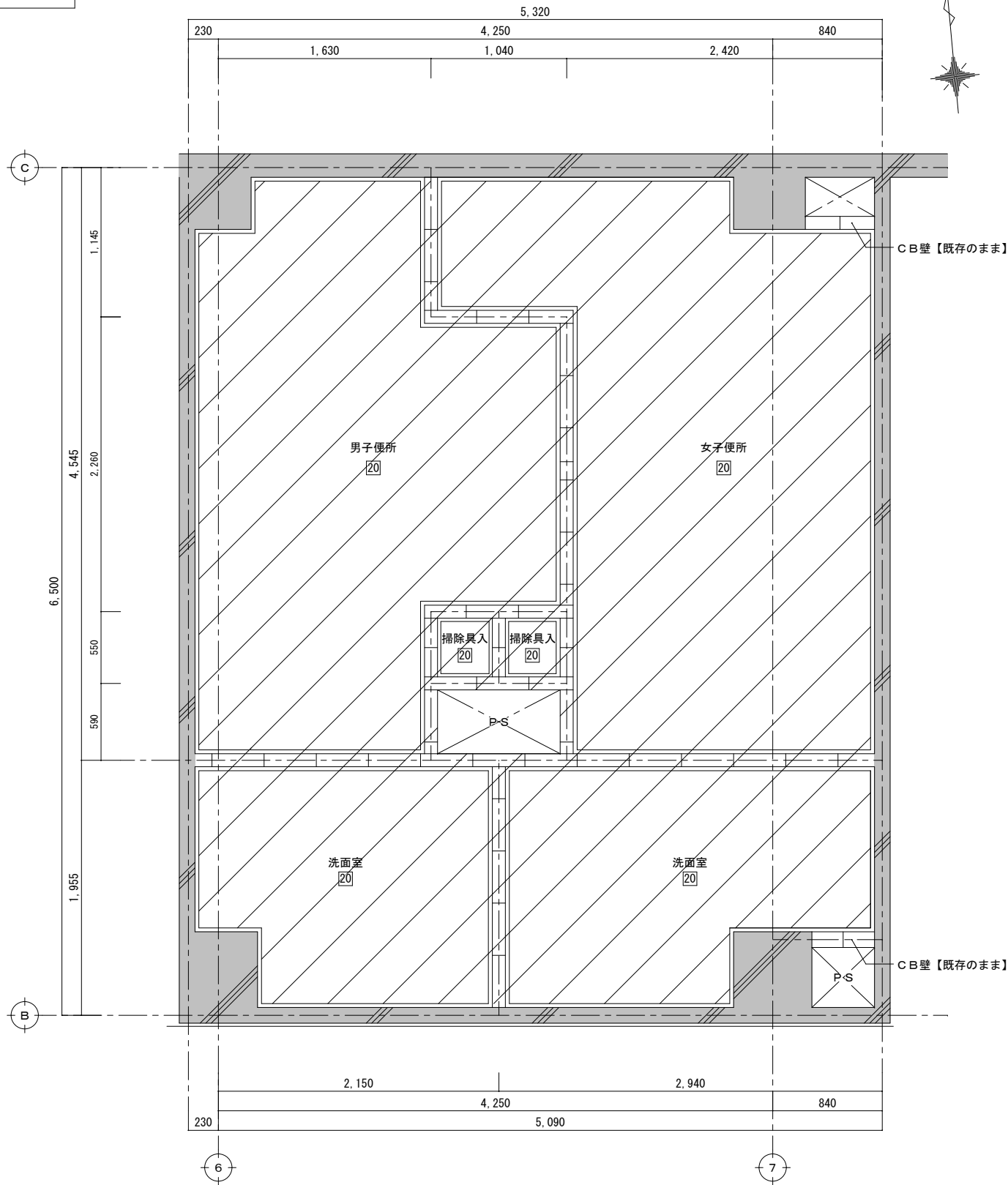
担当

製図

NO.

A 15

改修前



3階天井伏図 S=1/30

廻縁【撤去】

：【撤去】範囲を示す

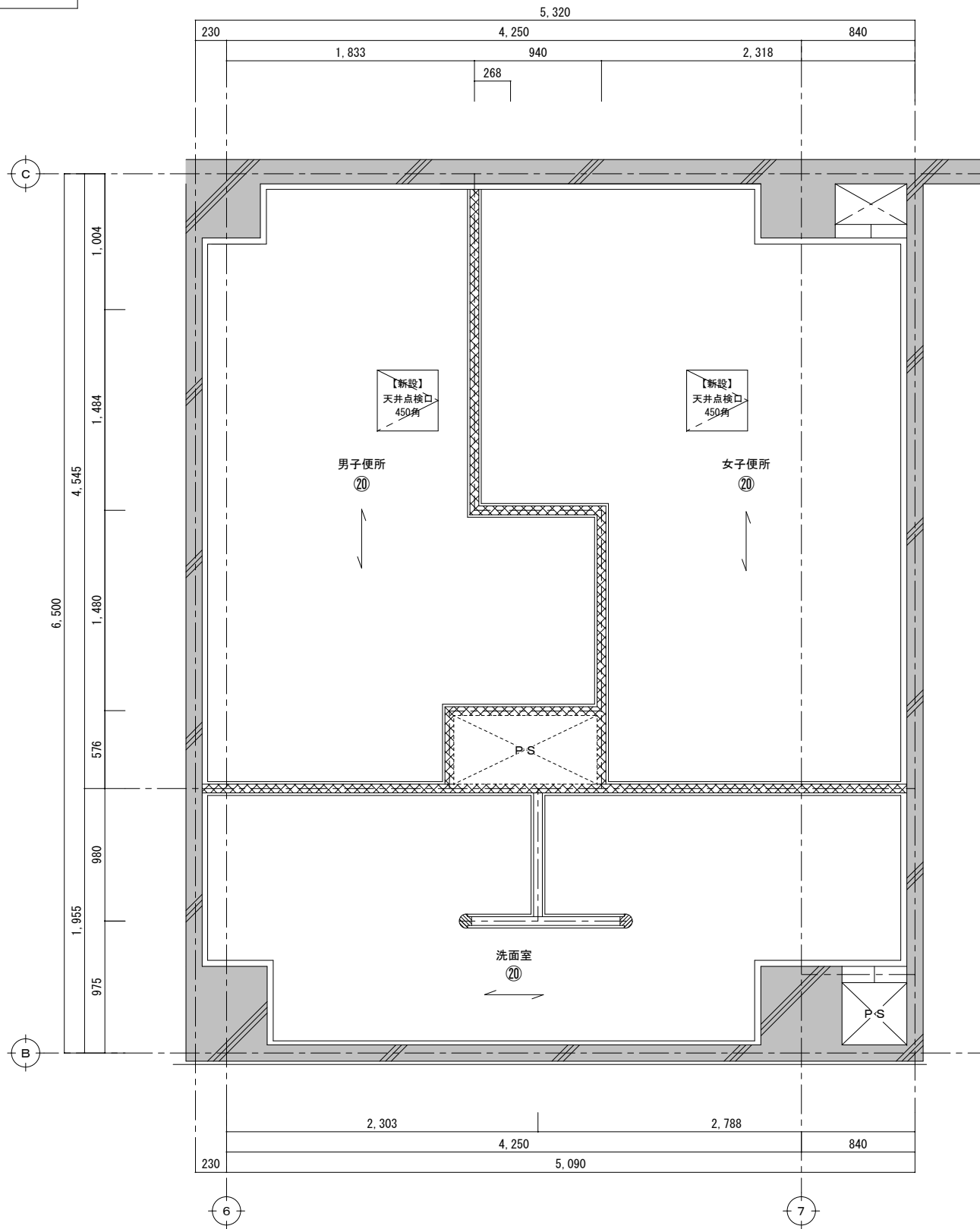
：RC壁を示す

：CB壁 t 100【撤去】を示す

天井仕上表

符号	下 地	仕 上 げ
20	LGS天井下地組【撤去】	石綿けい酸加シム板 t 6 VP【撤去】

改修後



3階天井伏図 S=1/30

※廻縁は塩ビ製（突付）とする

：天井材張り方向を示す

：グラスウール充填を示す
(t 50 24kg/m3)

：【新設】天井点検口を示す
(2カ所)

天井仕上表

符号	下 地	仕 上 げ
20	LGS天井下地組	GB-D t 9.5張り

備考 A2→A3(71%に縮小)

※照明器具・換気扇撤去は、設備工事とする

後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）

設計図

三 建 設 計 有 限 会 社

登録高-6号

図面名称

3階天井伏図（改修前・後）

高 知 市 知 寄 町 1-5-1

TEL 883-1761

FAX 883-1633

縮尺 S=1:50

年 月 日

担当

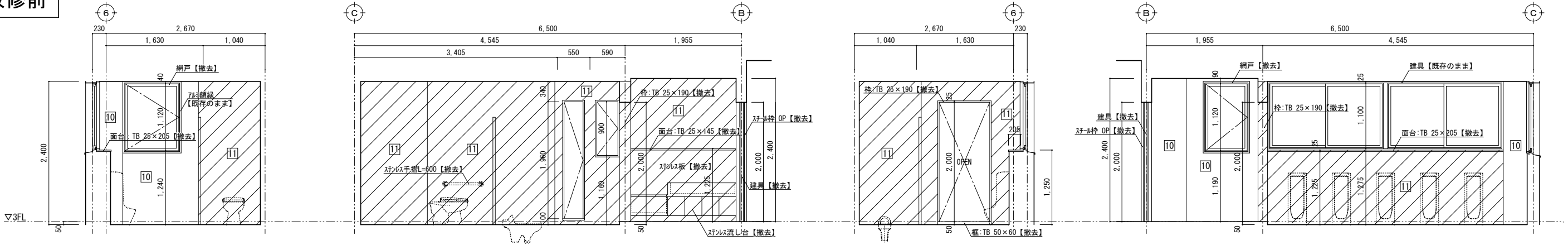
製図

NO.

A 16

[illegible]

改修前



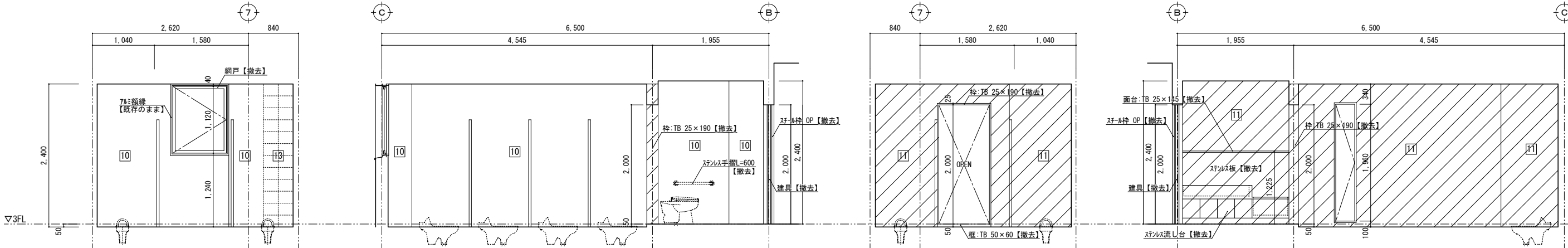
男子便所・洗面室

A 面

B 面

C 面

D 面



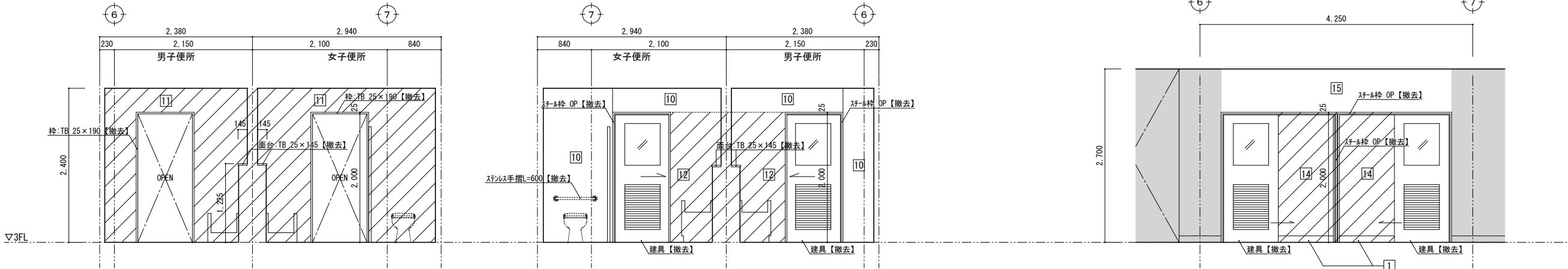
女子便所・洗面室

A 面

B 面

C 面

D 面



洗面室・廊下

洗面室A面

洗面室C面

廊下よりトイレ正面図 A面

下地撤去範囲を示す
改修範囲外を示す

10	磁器質100角タイル	コンクリート下地	1	木製幅木 H=100 OP【撤去】
11	磁器質100角タイル【撤去】	CB化粧積み【撤去】		
12	磁器質100角タイル【撤去】	コンクリート壁【撤去】		
13	磁器質100角タイル	CB化粧積み		
14	モルタルこて磨き【撤去】	コンクリート壁【撤去】		
15	モルタルこて磨き EP塗	コンクリート下地		

備考 A2→A3(71%に縮小)

※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする

後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）

設計図

三建設計有限会社

登録高-6号

図面名称

便所展開図（1）（改修前）

高知市知寄町1-5-1

TEL 883-1761

FAX 883-1633

縮尺 S=1:50

年 月 日

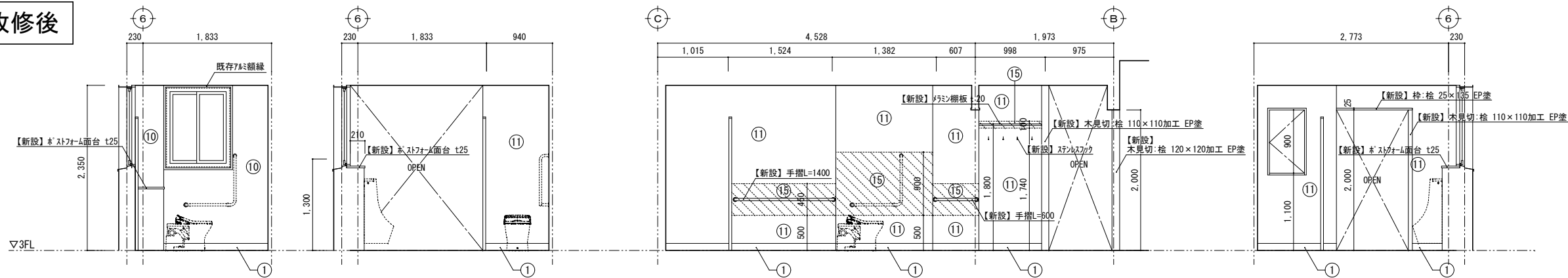
担当

製図

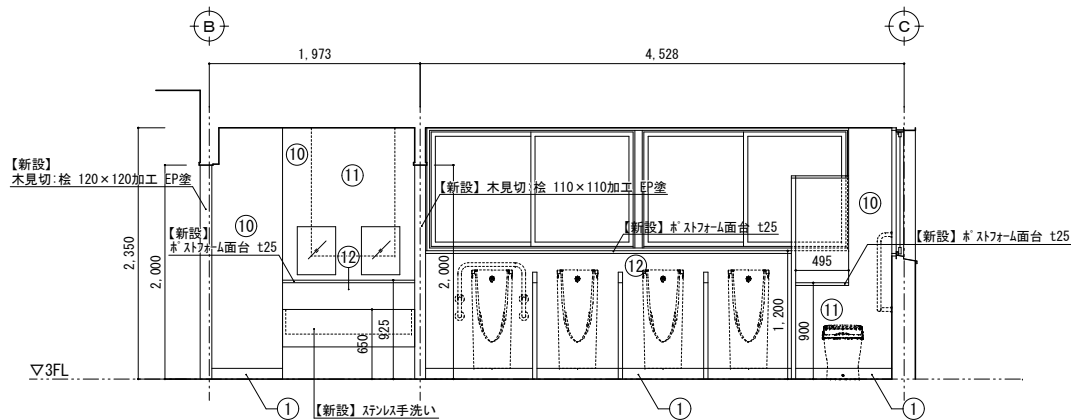
NO.

A 18

改修後

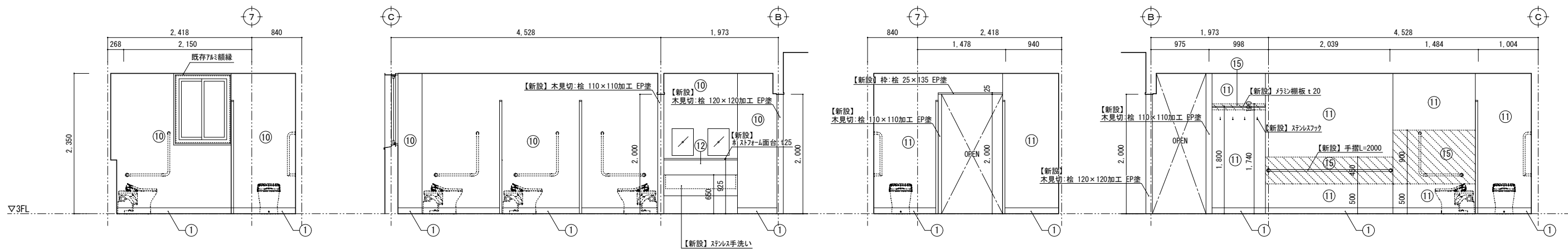


C面

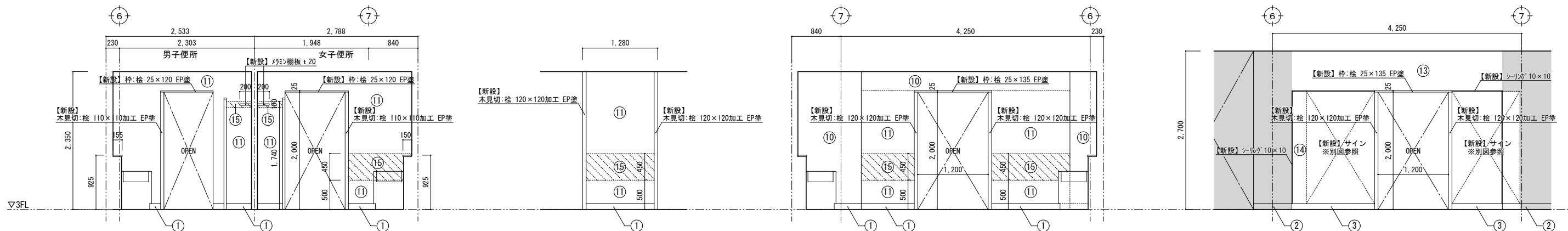


新設 壁仕上表		新設 幅木仕上表	
⑩	【新設】化粧けい酸カルシウム板直張り t 6	①	【新設】床仕上げ巻上げ H=100
⑪	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り)	②	木製幅木 H=100【既存のまま】
⑫	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (耐水合板 t 12下張り)	③	【新設】木製幅木 H=100 EP塗
⑬	【新設】EP塗		
⑭	【新設】GB-R t 12.5×2張り EP塗		
⑮	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り t 6 (GB-S t 12.5下張り) +垂鉛鋼板 t 1.6		

D 面



D面

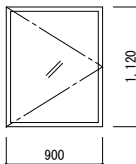
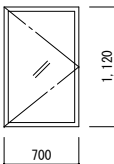
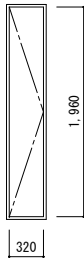
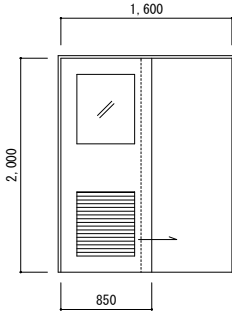
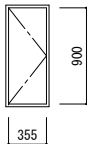
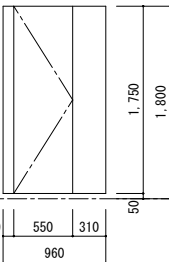
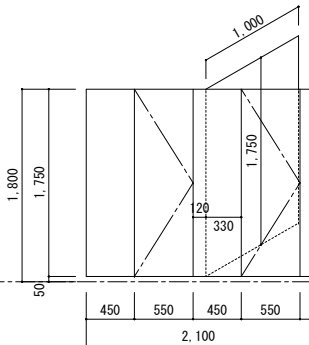
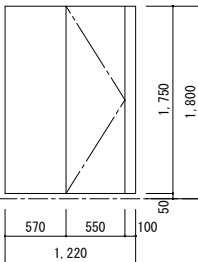
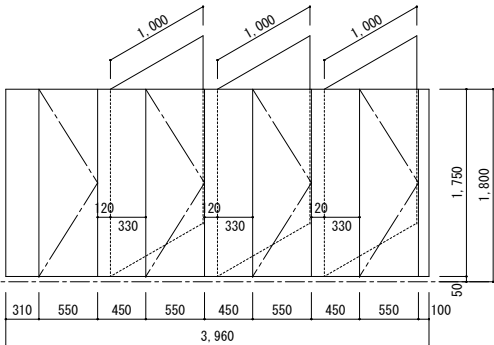


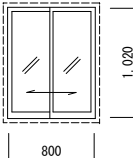
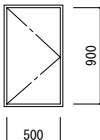
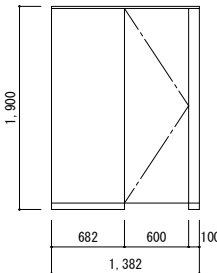
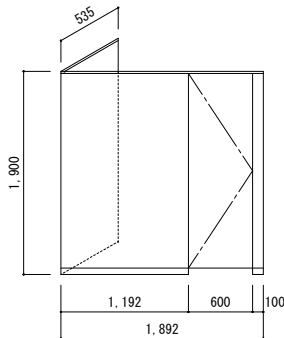
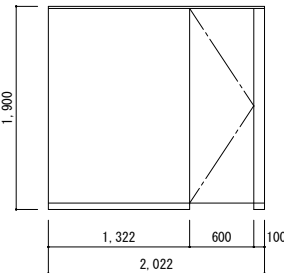
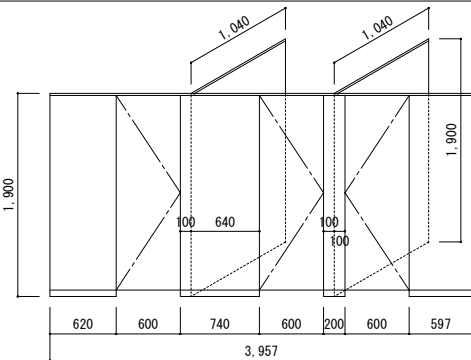
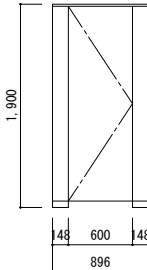
廊下よりトイレ正面図 A面

設計図

便所展開図（２）（改修後）

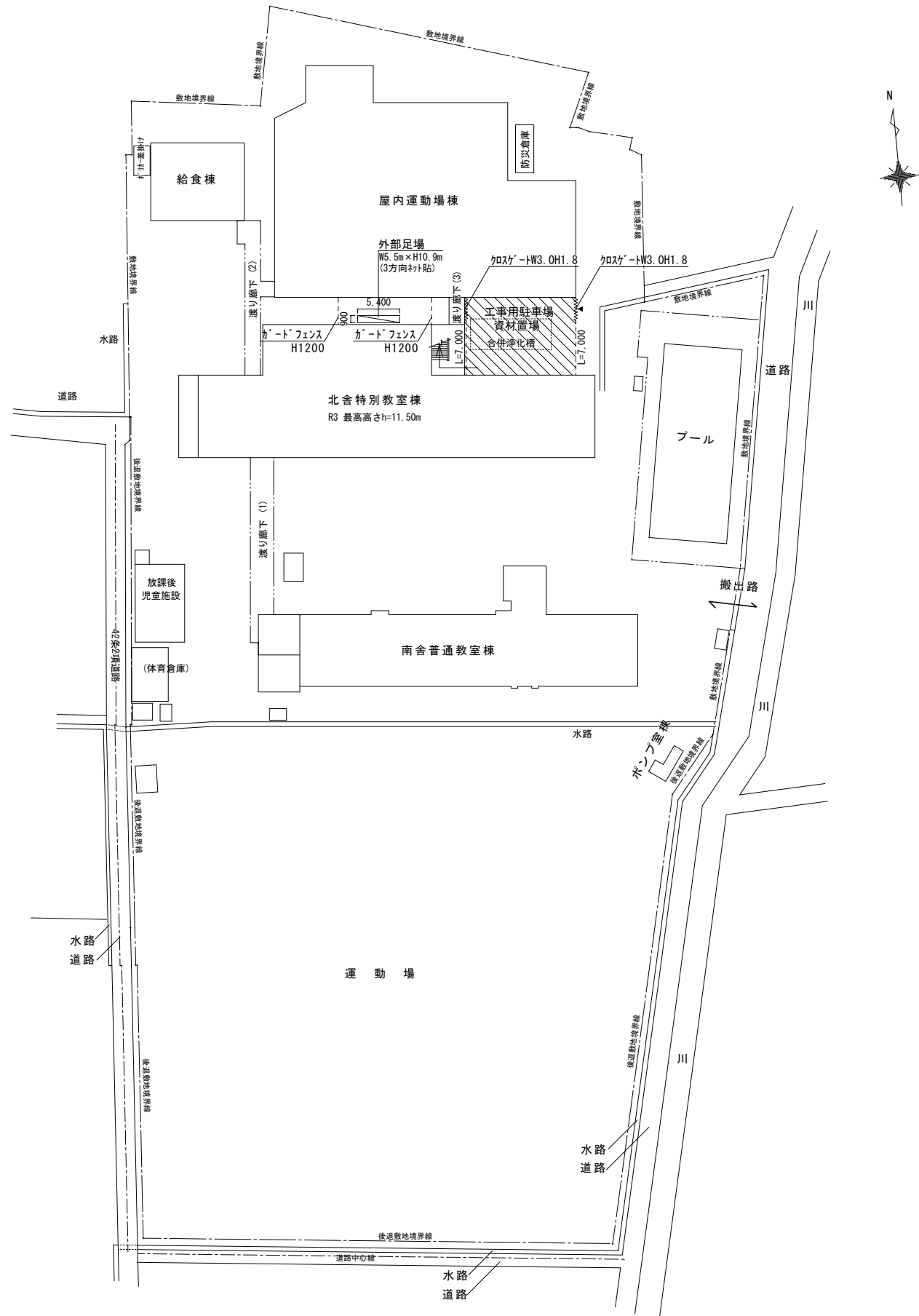
A — 19

記号・位置		AW1男子便所・女子便所		2箇所		AW2男子洗面室		1箇所		AD1男子便所・女子便所 掃除具入		2箇所		AD2男子洗面室・女子洗面室		2箇所			
姿 図																			
		既存仕様		改修工事		既存仕様		改修工事		既存仕様		改修工事		既存仕様		改修工事			
型式・見込		片開き窓		70		片開き窓		70		片開きフラッシュ戸		70		片引き戸		80			
仕 上		7㉫ミ7㉫ミイト				7㉫ミ7㉫ミイト				7㉫ミ7㉫ミイト（片面リブ板）				枠：ペイント鋼板 1.6mm OP 扉：化粧鋼板 OP					
ガラス他		型板 4mm		硝子のみ撤去		型板 4mm								ラファイバー 6.8mm					
金 物		7㉫ミ2重水切、4方7㉫ミ額縁、付属金物一式				7㉫ミ2重水切、4方7㉫ミ額縁、付属金物一式				ステンレス丁番2枚、シリンダー錠、4方7㉫ミ額縁				ステンレス舟底引手、戸車、ステンレス敷居					
備 考		片開き網戸（ステンレスネット）		片開き網戸（ステンレスネット）撤去		片開き網戸（ステンレスネット）		片開き網戸（ステンレスネット）撤去											
記号・位置		SD1男子便所 PS			1箇所														
姿 図																			
		既存仕様		改修工事															
型式・見込		スチール片開き扉		枠:100 扉:40		撤去													
仕 上		スチールPL 1.2mm OP																	
ガラス他																			
金 物		ステンレス丁番 120mm 2枚吊、4方スチール枠、シリンダー錠、ケースハンドル																	
備 考																			
記号・位置		SP1女子便所			1箇所		SP2男子便所			1箇所		SP3女子洗面室			1箇所		SP4女子便所		
姿 図																			
		既存仕様		改修工事		既存仕様		改修工事		既存仕様		改修工事		既存仕様		改修工事			
型式・見込		トイレブース		40		トイレブース		40		トイレブース		40		トイレブース		40			
仕 上		ホリ合板フラッシュ				ホリ合板フラッシュ				ホリ合板フラッシュ				ホリ合板フラッシュ					
ガラス他																			
金 物		ステンレス表示ラッチ錠、帽子掛け付戸当り、7㉫ミ笠木、7㉫ミ取手、付属金物一式				ステンレス表示ラッチ錠、帽子掛け付戸当り、7㉫ミ笠木、7㉫ミ取手、付属金物一式				ステンレス表示ラッチ錠、帽子掛け付戸当り、7㉫ミ笠木、7㉫ミ取手、付属金物一式				ステンレス表示ラッチ錠、帽子掛け付戸当り、7㉫ミ笠木、7㉫ミ取手、付属金物一式					
備 考																			
備考 A2→A3(71%に縮小)								三 建 設 計 有 限 会 社				登録高-6号				図面名称 建具表			
								後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）				設計図				高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633			
								一級建築士第135971				安並和文				縮尺 S=1:50 年月日 担当 製図 NO. A 20			

記号・位置		AW100男子便所・女子便所		2箇所		SD100男子便所 P S		1箇所											
姿 図																			
		新設仕様（カバー工法）				新設仕様													
型式・見込		片引違い窓		70		スチール片開きフラッシュ戸				扉:30									
仕 上		アルミ				溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 塗装焼付													
ガラス他		型板強化ガラス 4mm																	
金 物		クレセント、アルミカバー、4方アルミ額縁 25×40、付属金物一式				平面ハンドル錠、ステンレス隠し丁番、標準金物一式													
備 考		網戸（ステンレスネット）																	
記号・位置		TB100男子便所・女子便所		2箇所		TB101男子便所		1箇所		TB102女子便所		1箇所 TB103女子便所		1箇所					
姿 図																			
		新設仕様				新設仕様				新設仕様				新設仕様					
型式・見込		トイレブース（片開き戸）		40		トイレブース（片開き戸）				40		トイレブース（片開き戸）				40			
仕 上		高圧メラミン樹脂化粧板				高圧メラミン樹脂化粧板				高圧メラミン樹脂化粧板				高圧メラミン樹脂化粧板					
ガラス他																			
金 物		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グランドフィッティング、スライドボルト（非常開錠付）、取手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式				7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グランドフィッティング、スライドボルト（非常開錠付）、取手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式				7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グランドフィッティング、スライドボルト（非常開錠付）、取手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式				7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グランドフィッティング、スライドボルト（非常開錠付）、取手、戸当り帽子掛け、その他付属金物一式					
備 考		内開き戸は、非常時外開き仕様				内開き戸は、非常時外開き仕様				内開き戸は、非常時外開き仕様				内開き戸は、非常時外開き仕様					
記号・位置		TB104洗面室(掃除具入)		2箇所		仕切100男子便所		3箇所											
姿 図																			
		※男女で開き反対																	
		新設仕様				新設仕様													
型式・見込		トイレブース（片開き戸）		40		隔て板				40									
仕 上		高圧メラミン樹脂化粧板				高圧メラミン樹脂化粧板													
ガラス他																			
金 物		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グランドフィッティング、取手、その他付属金物一式				ステンレス巾木、その他標準金物一式													
備 考																			

備考 A2→A3(71%に縮小)		後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）設計図		三 建 設 計 有 限 会 社			登録高-6号		図面名称 【新設】建具表				
				高 知 市 知 寄 町 1-5-1		TEL 883-1761 FAX 883-1633		縮尺 S=1:50				NO.	
				一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1		安 並 和 文		年 月 日 担当		製図		A — 21	

記号・位置		家具 1男子洗面室・女子洗面室		2箇所	



外部仮設計画図 S=1/500

※浄化槽は管理点検が出来るようにすること

備考 A2→A3 (71%に縮小)		後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（建築）	設計図	三 建 設 計 有 限 会 社			図面名称			
				登録高-6号			外部仮設計画図			
				高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633			縮尺 S=1:500		NO.	
				一級建築士第135971 安並和文			年 月 日 担当		製図 A — 23	



3 階内部仮設計画図 S=1/200

----- 仮設間仕切り壁 : LGS65形+GB-Rt9.5張り
※資料室に入れるように先生に鍵を渡しておく
階段は作業スペースとする

2 階内部仮設計画図 S=1/200

1 階内部仮設計画図 S=1/200

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 高知県南国市下野田276-2

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
後免野田小学校	RC造	3 階建	1,954.62 m ²	7 項
		階建		
		階建		

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外 工事種目	後免野田小学校			
電灯設備	○			
動力設備				
受変電設備				
自家発電設備				
避雷設備				
非常灯設備				
構内交換設備				
インターホン設備				
テレビ共聴設備				
電気時計設備				
放送設備				
誘導灯設備				
トイレ呼出表示設備				
火災報知設備				
外灯設備				
構内線路				

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版）及び電気設備工事標準図（令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工事に電力、水、その他	本工事に必要な工費用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ○ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ○ できる ・ できない (工費用足場に限り) 次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業) アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ※ 構外搬出 搬出先の名称 () 所在地 () 運搬距離 () km その他 搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積 高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。 はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事（墨出しは本工事） ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット（ふたを含む）※別途工事 ・ 本工事 屋外の変電設備基礎 ※本工事 ・ 別途工事 動力機器（電動機など）への接続 ※本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

⑧ 電線類

⑨ 呼び線

⑩ フラッシュプレートの材質

⑪ かゝプレート の用途別表示

12 接地極

13 埋設表示

⑭ 再使用機器

⑮ 絶縁抵抗の測定

⑯ 補修など

17 屋上・屋側の支持金物

18 結露防止

⑰ はつり・非破壊検査

⑳ 天井仕上区分

21 配線器具

22 LED照明器具

23 照明器具の接地

24 照明器具用位置ボックス

25 一般照明器具の照度測定

26 非常用照明器具の照度測定

27 分電盤分岐回路

28 テレビ共同受信設備

29 構内埋設線路

30 執務並行改修の単価の適用

⑳ 耐震施工

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
耐火ケーブル (FP) 及び耐火ケーブル (HP) はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。

長さ1 m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

・ 樹脂製 ○ 新金属 ・ ステンレス

シール等を貼付する。

下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極
共同接地	E A E D	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
B 種	E B	150/Is Ω Is=1線地絡電流	E B (14φ) x 3連ー2組
D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) x 1
C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
避雷用	E L	10Ω以下	E P x 1
高圧避雷用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) x3 連ー2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製

上記以外の接地極及び地中配線の表示 100□ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。

工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。

工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

ステンレス製とする。（装柱金物は除く）

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。
はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探索器により探索し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。

(室名)はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。

タンブラスイッチは大角型連用形とする。

壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。

単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。

ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。

ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電圧15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。

測定箇所については監督職員と協議を行う事。

設置した各部屋2箇所以上

分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50AFの1Pサイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・ 双方向型

電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要

埋設深さ 特記なきはGLー 600 以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。

地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダフル）を管頂と地表面の中間に設ける。

本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力

機器の重量〔N〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】		・ 特定の施設		・ 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 塔屋及び屋上	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類（※1）	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地下及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2. 0とする。

【備考】（※1）水槽類には燃料小出タンクを含む。

注：上層階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階

13階建以上の場合は上層4階

重要機器（ ・ 自立配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ）

（ ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機 ）

（ ・ 中央監視制御装置 ・ ）

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

32 コンクリート工事／骨材

33 ハンドホール

⑳ 工事 ・ 完成写真

⑳ 工事完成図

36 石綿含有建材の調査

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。

写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版）」による。

下記のものを監督職員に提出する。

区分	提出形式	備 考
工事写真	A 4版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
	A 4版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。

A 4版 1部 ※要 ・ 不要

A 3版 2ツ折り製本 2部 ※要 ・ 不要

CADデータ CDR ※要 ・ 不要

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

事前調査は書面調査、現地調査にて行う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を行うか監督職員と協議を行う。

石綿含有建材の設計時調査（情報提供） ・ 有 ・ 無

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。

ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)
ブラケット（一般）	床～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床～中心	800
” （踊場）	”	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
” （鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床～下端	300
避難口誘導灯	床～下端	1,500以上	接地用端子箱	床～下端	500
廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床～中心	(天井高) x0. 9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	”	900
スイッチ、インターホン機（身体障害者用）	”	1,100	復帰ボタン（ ” ）	”	1,800
コンセント、電話用アットレット、直列ユニット（一般）	”	300	廊下表示灯（ ” ）	”	2,000
” （和室）	”	150	テレビ機器収容箱	”	1,800
” （台所）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床～操作部	800～1,500
コンセント（ガス漏れ検知器 (LPガス)）	床～中心	200	火報総合盤	床～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	” (上端1,900以下)	1,500	コンセント（車庫）	床～中心	800
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）	”	1,500	ガス漏れ検知器（LPガス）	床～警報器上端	300
インターホン、副受信機	”	1,500	” （都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200
			引込開閉器箱（低圧）	床～上端	2,000

備考 (天井高) x0. 9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

⑳ 室内空気汚染
(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板、木質系フローリング 構造用パネル、集成材 単板積層材、MDF パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材 保温材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大匠認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゲンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤 (防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプロカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤 配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ- <i>n</i> -ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	(①②③④)の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。)
室内に関わる材料（上記①～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ- <i>n</i> -ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプロカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。	

工 事 名

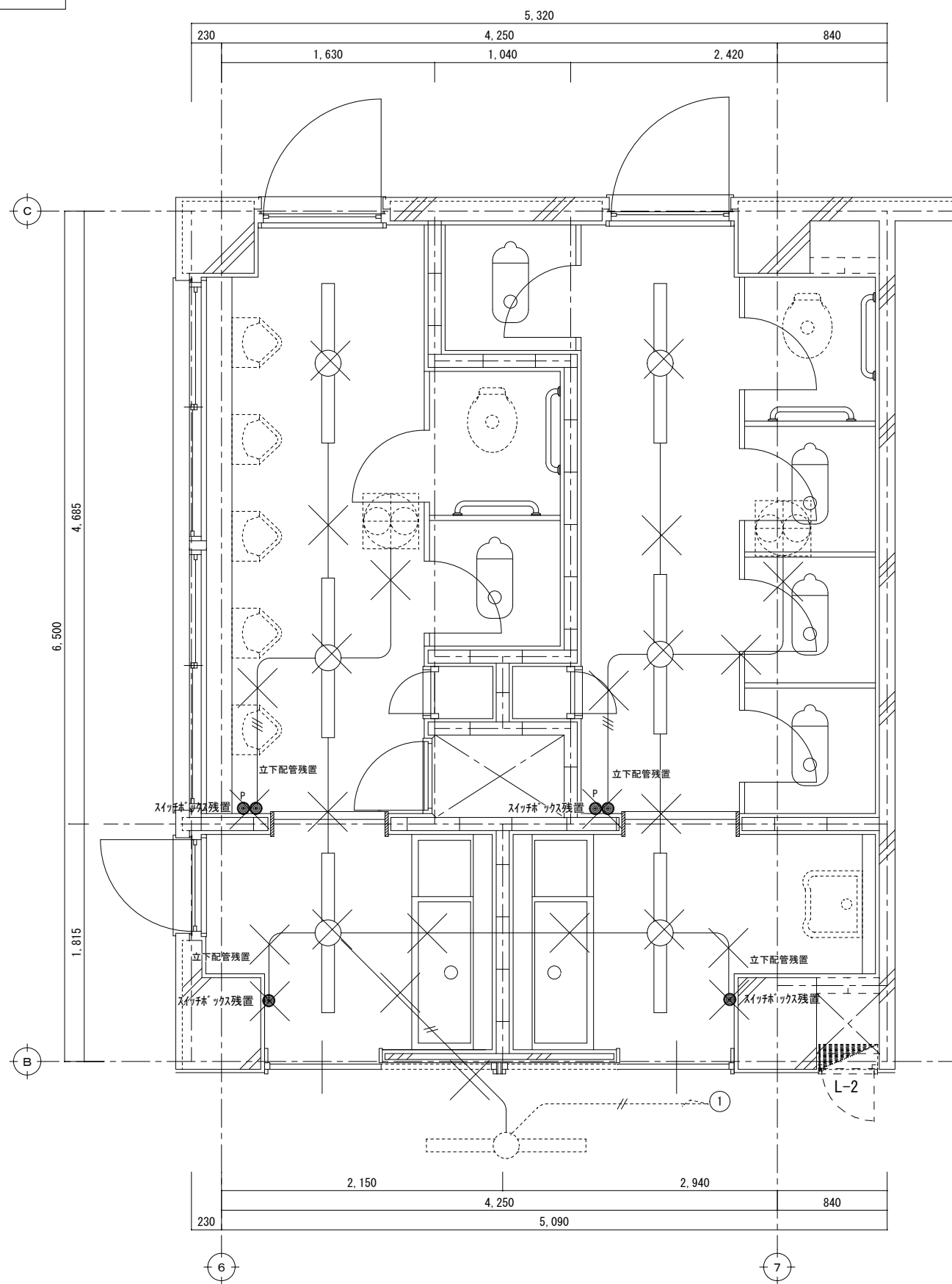
後免野田小学校3階トイレ様式化改修工事（電気・機械）

南国市

E-01

機材名	指定品	機材名	指定品	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名		
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙカリ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）				
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業システム ＴＯＡ（株） ﾊﾞﾅﾈｯｸｺﾈｸﾄ（株）				
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）安川電機	盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 キュービｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設（株） 上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの				
配線器具類	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ*（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎	太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ*（株） パナソニック（株）				
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ*（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ*（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎				
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株）						
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ*（株） ニ チ コ ン（株） 日 新 電 機（株） 三 菱 電 機（株） 利 昌 工 業（株） ※ 1						
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	J I S マーク表示品			高圧用変圧器	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク（株） （株）ﾀﾞｲ ﾍ ﾝ ﾀｶｵｶ化成工業（株）※ 2 （株）東 光 高 岳 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ*（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎 利 昌 工 業（株） ※ 2						
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			※ 1 モールドコンデンサに限る							
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの										
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの										
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの										
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの										
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの										
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの										
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの										
構内交換装置	（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品										
電気設備機材指定表								R060701			
工 事 名 後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（電気・機械）											
南国市								E-02			

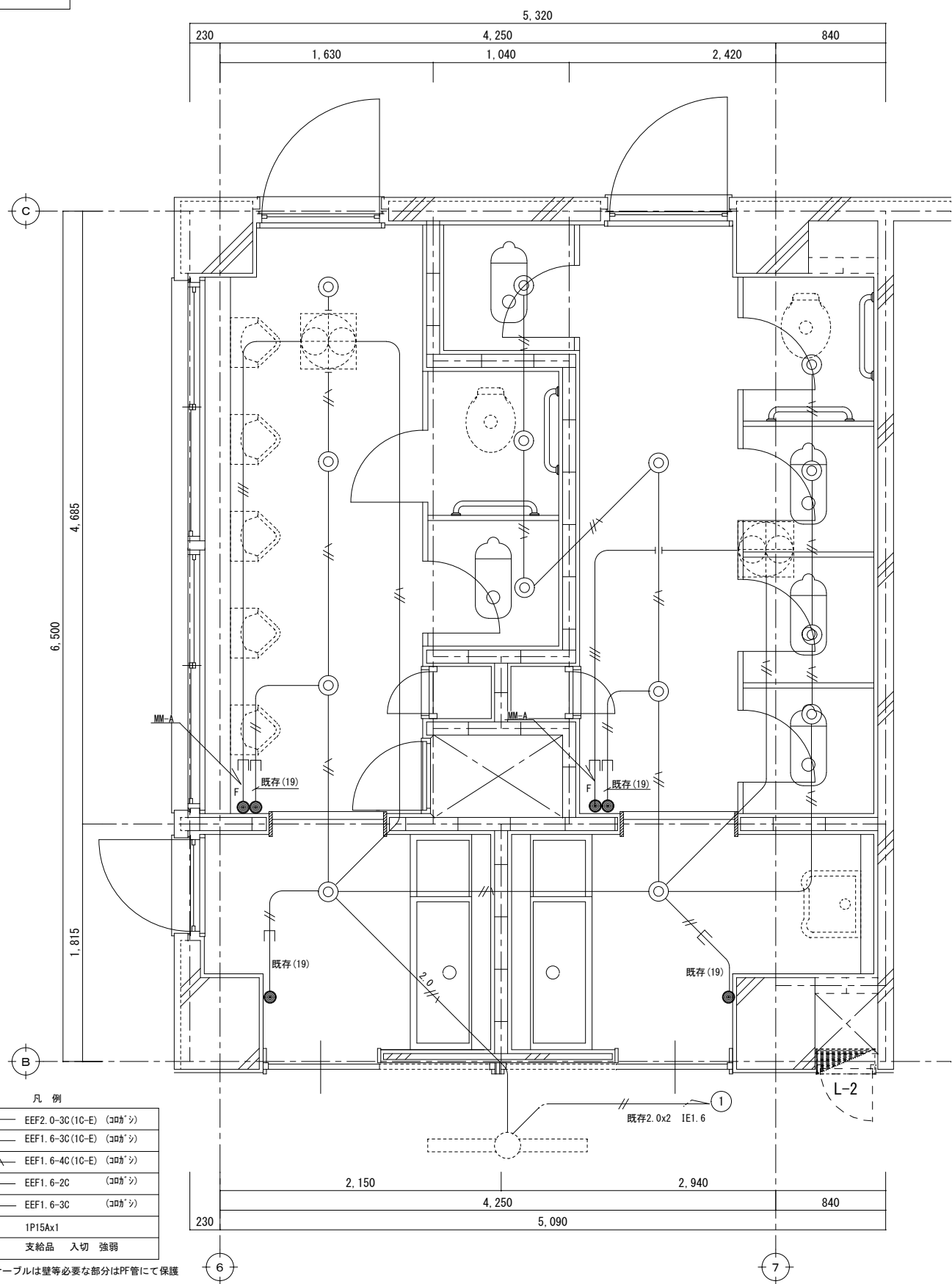
改修前



凡 例	
——	1.6 x 2 (19)
——	2.0 x 2 (19)
——	1.6 x 3 (19)
×	撤 去

2 階平面図 S=1/30

改修後



凡 例	
2.0	EEF2. 0-3C (1C-E) (コタ'シ)
——	EEF1. 6-3C (1C-E) (コタ'シ)
——	EEF1. 6-4C (1C-E) (コタ'シ)
——	EEF1. 6-2C (コタ'シ)
——	EEF1. 6-3C (コタ'シ)
●	1P15Ax1
●F	支給品 入切 強弱

* 配線ケーブルは壁等必要な部分はPF管にて保護

◎ ダウンライト LED100形 14台 (LRS1-08)	
光束 800lm以上1300lm以下 固有エネルギー消費効率 105lm/W以上 定格入力電圧 100V~242V Ra80以上 5000K (昼光色) 配光 拡散タイプ 埋込穴150φ 本体・枠色 白	

2 階平面図 S=1/30

* 既設スイッチボックスを再利用する。既設配管 (19) は天井部で切断し立下げ配管として再利用する。

備考

後免野田小学校 3 階トイレ洋式化改修工事 (電気・機械)

設計図

三 建 設 計 有 限 会 社

登録高-6号

高 知 市 知 寄 町 1-5-1

TEL 883-1761

FAX 883-1633

一 級 建 築 士 第 135971

安 並 和 文

図面名称

2 階電灯設備平面図

縮尺 S=1:30

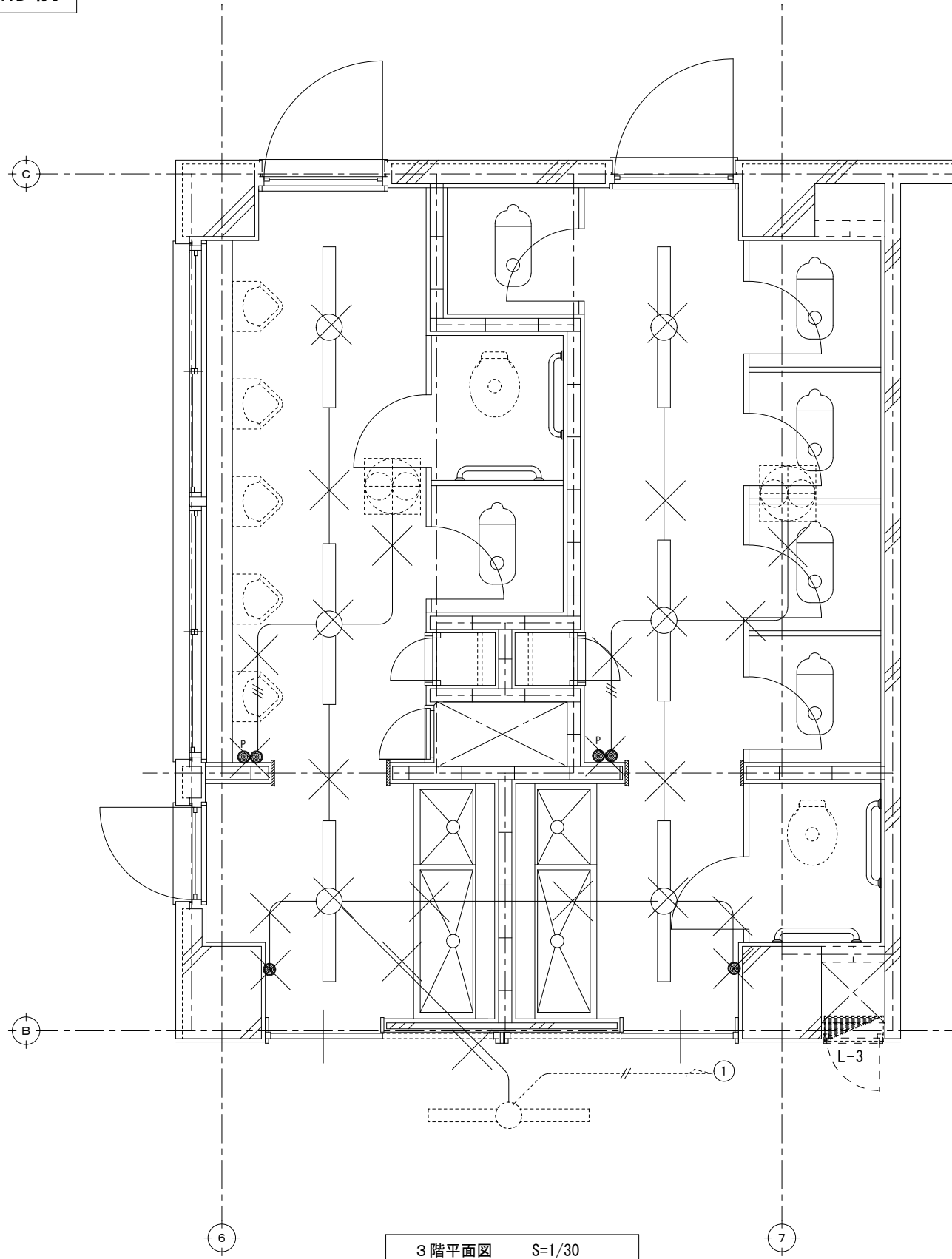
年 月 日 担当

製図

NO.

E 03

改修前



3 階平面図 S=1/30

凡 例

	1.6 x 2 (19)
	2.0 x 2 (19)
	1.6 x 3 (19)
	撤去
	FL-40Wx1

破線は既存を表す

備考

後免野田小学校 3 階トイレ洋式化改修工事（電気・機械）

設計図

三 建 設 計 有 限 会 社

登録高-6号

図面名称	
------	--

3階電灯設備平面図（改修前・後）

高知市知寄町 1-5-1

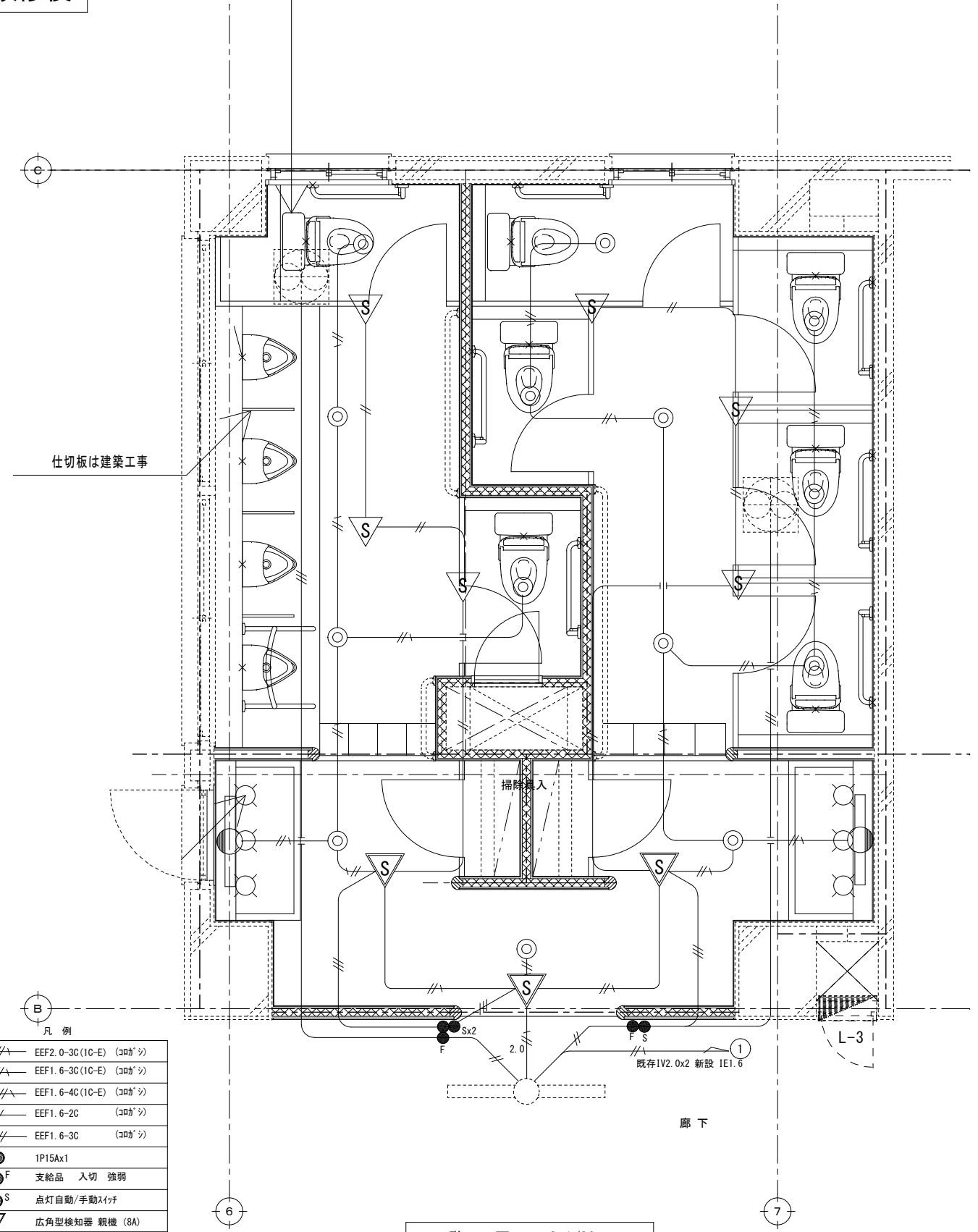
TEL 883-1761 FAX 883-1633

縮尺	S=1:30
----	--------

--	--

NO.	
-----	--

改修後



3階平面図 S=1/30

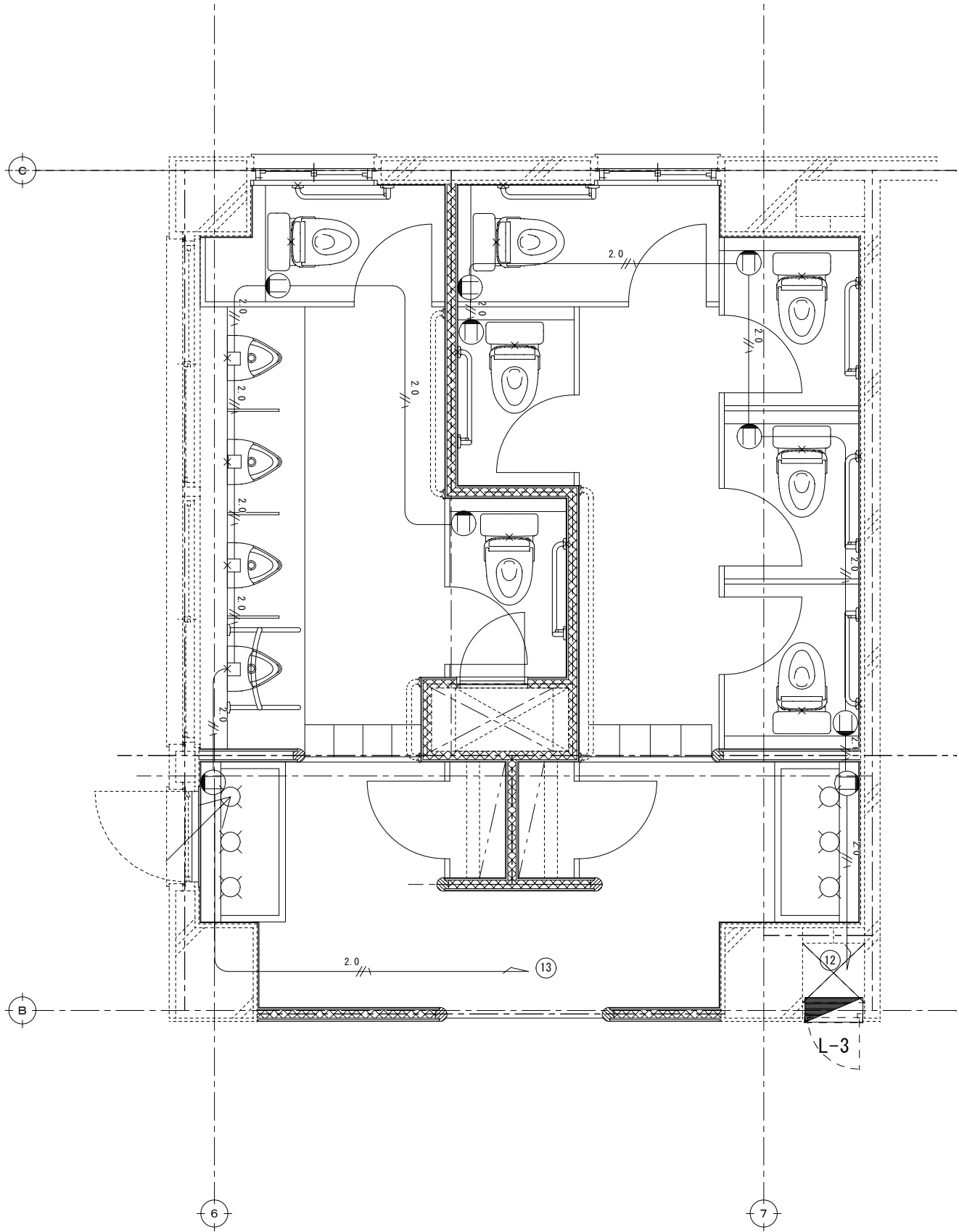
	EEF2. 0-3C (1C-E) (㊦㊦)
	EEF1. 6-3C (1C-E) (㊦㊦)
	EEF1. 6-4C (1C-E) (㊦㊦)
	EEF1. 6-2C (㊦㊦)
	EEF1. 6-3C (㊦㊦)
	IP15Ax1
	支給品 入切 強弱
	点灯自動/手動スイッチ
	広角型検知器 観機 (8A)
	広角型検知器 手機

* 配線ケーブルは壁等必要な部分はPF管にて保護

◎ ダウンライト LED100形 14台 (LRS1-08) 光束 800lm以上1300lm以下 固有エネルギー消費効率 105lm/W以上 定格入力電圧 100V~242V Ra80以上 5000K (昼光色) 配光 拡散タイプ 埋込穴φ150 本体・枠色 白		LED7 ラケット 2台 FL20W形1灯相当 光束 800lm以上 定格入力電圧 100V~242V Ra80以上 5000K (昼光色) 本体 鋼板(白) セード プラスチック(乳白)	
---	---	--	---

	LEDﾌﾞﾗｹｯﾄ	2台
---	-----------	----

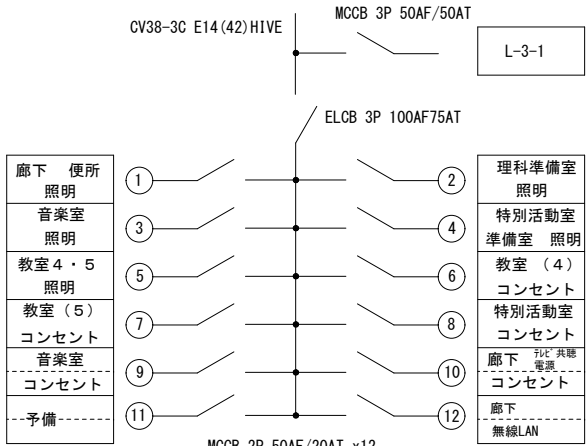
FL20W形1灯相当
光束 800lm以上
定格入力電圧 100V~242V
Ra80以上 5000K(昼光色)
本体 鋼板 (白)
セード プラスチック (乳白)



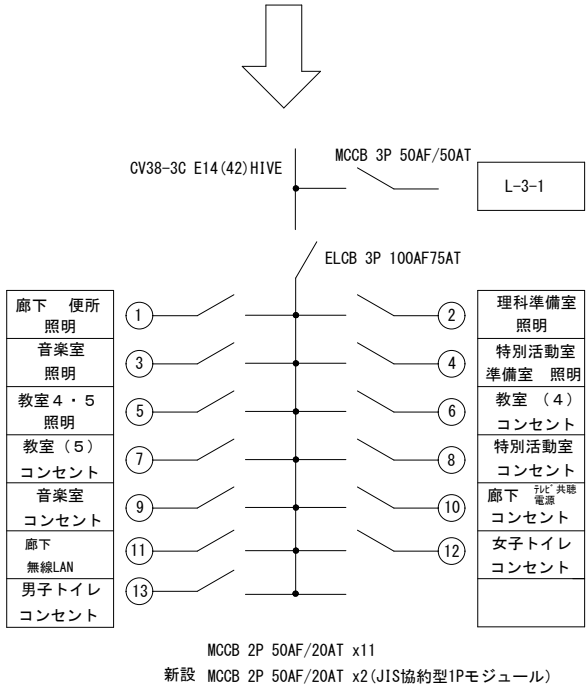
3階平面図 S=1/30

凡 例	
	EEF2 0-30 (10-E) (200W)
	2P15A ET x1
	電源接続部

*配線ケーブルは壁等必要な部分はPF管にて保護



予備⑪ 2P 50AF/20ATx1をJIS1協約型1Pモジュール 50AF/20ATx2に取り換える



⑪、⑬MCCB 1P 50AF/20AT
廊下無線LAN電源を⑪に配線替
⑫、⑬新設コンセント回路

L-3 盤改修図 S=NON

特 記 仕 様 書 （ 1 ）

工事名称	御免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事（機械）				
設計年度（設計図）	令和 6 年度				
工事期間（完成図）	令和 年 月 日～令和 年 月 日				
工事場所	高知県 南国市 下野田276-2				

棟名	構造	階数	延床面積（㎡）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
小学校	R C造	3	（改修部面積） 34. 5 8		（15）項
		戸数			
		1			

共通事項																																		
種目	項目	特 記 仕 様（※及び●印をつけたものを適用する）																																
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。 ※ 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※ 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)																																
	スリーブ	● 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官庁官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別： ○ 特定の施設 ● 一般の施設 地域係数： 1. 0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。重要機器 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。防災機器 2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。火を使用する機器 タンク類 消火設備機器																																
	機器類 区画貫通処理 耐震措置																																	
	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図16) ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト(亜鉛ドブ漬又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりにより配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。																																
	配管の支持																																	
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表 <table><tr><th colspan="2">流体種別</th><th colspan="2">給水</th><th colspan="2">給湯</th><th colspan="2">冷温水</th></tr><tr><th>管材等種別</th><th>ステンレス管</th><th>ライニング管</th><th>水栓金具</th><th>弁類</th><th>ステンレス管</th><th>ライニング管</th><th>弁類</th></tr><tr><td>テープシール材</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td></tr><tr><td>ペーストシール剤</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td>(ロ)</td></tr></table>	流体種別		給水		給湯		冷温水		管材等種別	ステンレス管	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンレス管	ライニング管	弁類	テープシール材	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	ペーストシール剤	(ロ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ロ)
	流体種別		給水		給湯		冷温水																											
	管材等種別	ステンレス管	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンレス管	ライニング管	弁類																										
	テープシール材	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)																										
	ペーストシール剤	(ロ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ロ)																										
(テープシール材)	※ (イ) テープシール材は、JIS K 6885(シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ))によるものとする。 注) 水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。 ※ (ロ) 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※ (ハ) 給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161(水道用ライニング鋼管用液状シール剤)に規定する水道用シール剤とする。 注) 水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤(ロ) (例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など) ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤(ハ) (例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメテックNo. A0-9など)																																	
(ペーストシール剤)	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。 ※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。) ○ 一般敷地300mm以上 ○ 車道通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ○ 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※ 石綿含有分析調査 ○本工事 ○別途 ●無し アスベスト含有品(ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等)は関係法令に従い適切に処理を行う。																																	
弁類 サヤ管工法 埋設深さ(管上) 埋設管の保護	※ 構外搬出 処理場所()所在地()距離()km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ○ 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積 ※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生クラッシュランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可) ※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。																																	
石綿含有品 建設発生土の処理	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ○ 風量調整 ● 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 騒音の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○ 冷凍空調調機器施工 ○ その他 完成図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ(PDF形式) ※ A4版製本 1部 ※ 2ツ折りA3版製本 2部 施工図 ● CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ● 2ツ折り製本(サイズは原図による) 工事管理資料(写し) ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類 ○ マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ● 掃除口ハンドル ○																																	
総合調整 技能士の適用 完成後の提出物																																		
●(揮発性有機化合物)対策 室内空気汚染	対象建築材料等	使用制限																																
	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大匠認定品とする。																																
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。																																
	③ 木材保存剤(防虫処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防虫・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。																																
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																																
	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料(上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。																																

配管材料	① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】（JIS G 3452）	㉑ ポリブデン管 （JIS K 6778）							
	② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】（JIS G 3452）	㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】（WSP 042）							
	③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】（JWWA K 116・WSP 011）	㉓ 排水用ノンタルエポキシ塗装鋼管 （WSP 032）							
	④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】（JWWA K 116）	㉔ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】（JIS G 5525）							
	⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】（JWWA K 132・WSP 039）	㉕ 鉛管（HASS 203）							
	⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】（WSP 041）	㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】（JIS K 6741）							
	⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】（JWWA K 140）	㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】（JIS K 6741）							
	⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】（JIS G 3448）	㉘ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】							
	⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】（JIS G 3459）・・・60A以下は拡管式	㉙ 卵形管 【ゴムリング】（JAWAS K-3）							
	⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】（JWWA G 113）	㉚ ブレキャスト鉄筋コンクリート製品 （JIS A 5372） ヒューム管							
	⑪ 銅管 【M】（JIS H 3300）	㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】（JIS G 3452原管） 白							
	⑫ 外面被覆鋼管 【M】（JIS H 3330） 給湯	㉜ ガス用ポリエチレン管（JIS K 6774）							
	⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】（JIS K 6776）	㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管（JIS G 4305）によりガス用に製造されたもの】							
	⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】（JIS K 6742）	㉞ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】（JCDA 0009） 冷媒							
	⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】（JIS K 6742）	㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）							
	⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】（JWWA K 127）	㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）							
	⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】（JWWA K 129）	㊲ -							
	⑱ 水道用ポリエチレン二層管 （JIS K 6762）	㊳ -							
	⑲ 水道配水用ポリエチレン管 （JWWA K 144）	㊴ -							
	⑳ 架橋ポリエチレン管 （JIS K 6769）	㊵ -							
管種使用区分	工種	場所	屋内一般	屋内ビット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空	
	給水（直圧）								
	給水（一般）		③						
	汚水		㉔						
	雑排水		㉔						
	通気		㉔						
	ガス								
	消火								
	給湯								
	器具接続								
	冷温水								
	冷却水								
	中水								
	冷媒								
	空調ドレン								
	塗装・防食	※ 垂鉛メッキ面の塗装下地は化学処理（エッチングプライマ）を施す。 ※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ※ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管（メカ型継手共）及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。 ○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。 ※ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。 屋外： ○ドレン管（指定色塗装） ○金属電線管（指定色塗装） 屋内： ○ダクト（指定色塗装） ○金属電線管（指定色塗装） ●フード類（指定色塗装）							
工種		場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備 考
給水			a2()Ⅶ	b()Ⅶ	c2(ロ)Ⅶ	d()Ⅶ	e2()Ⅶ	()	
排水・空調ドレン			a()Ⅶ	b()Ⅶ	c2()Ⅶ				
給湯			a()Ⅰ	b()Ⅰ	c2()Ⅰ	d()Ⅰ	e2()Ⅰ		
冷水・冷温水管			A()Ⅲ	B()Ⅲ	C1()Ⅲ	D()Ⅲ	E2()Ⅲ		
冷媒管			(チ)+	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+		
矩形ダクト			J1()XI	I()XI	I()XI		K2()XI		
スパイラルダクト			O1()XI	N()XI	N(ロ)XI		P2()XI		
保温・防露	(イ)ロックウール保温材		(ニ)簡易保温筒10mm		(ト)簡易耐熱保温筒20mm		(ヌ)ガルバリウム鋼板		
	(ロ)グラスウール保温材		(ホ)簡易保温筒20mm		(チ)冷媒用被覆鋼管		(ル)カラーガルバリウム鋼板		
	(ハ)ポリスチレンホーム保温材		(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm		(リ)SUSラッキング		(ヲ)ー		
	● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。								
表示	※ 配管表記 ①機械室・ビット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 ※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。 ※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。（県標準図13） ※ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。） ※ 屋外に設置するバルブは固定するか、表示方法を協議する。 ※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示紙(標示柱は県標準図8)を設ける。 ※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。（排水・通気管を除く）								
発生材の処理	○ 引渡しを要するもの（								
	○ 現場において再利用を図るもの（								
	※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。								
	※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。								

後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事(機械)	設計図	三 建設 計 有 限 会 社 登録高-6号		図面名称 機械設備特記仕様書（1）	
		高 知 市 知 寄 町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633		縮尺 S=1:100	NO.
		一 級 建 築 士 第 135971 安 並 和 文		年 月 日 担当	製図 M— 01

特 記 仕 様 書 （ 2 ）																																																			
Ⅱ 工 事 種 目																																																			
● 衛 生 器 具 設 備	取付位置 大便器 化粧鏡 流量調整 洗濯機パン シール（コーキング）	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意） ※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1） ※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。 ※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。 ※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒 ※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ○ 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。 <table><tr><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">設置場所の床が湿式(防水)</th><th colspan="2">設置場所の床が乾式(非防水)</th></tr><tr><th>壁</th><th>床</th><th>壁</th><th>床</th></tr><tr><td>洋風便器</td><td>－</td><td>不</td><td>－</td><td>不</td></tr><tr><td>洗面器類</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>－</td></tr><tr><td>掃除流し</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯流し</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯パン</td><td>－</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>ステンレス流し台</td><td>要</td><td>不</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="5">壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。</td></tr></table>	機器種別	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)		壁	床	壁	床	洋風便器	－	不	－	不	洗面器類	不	－	要	－	掃除流し	不	－	要	不	洗濯流し	不	－	要	不	洗濯パン	－	－	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧棚	不	－	要	－	壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。				
機器種別	設置場所の床が湿式(防水)			設置場所の床が乾式(非防水)																																															
	壁	床	壁	床																																															
洋風便器	－	不	－	不																																															
洗面器類	不	－	要	－																																															
掃除流し	不	－	要	不																																															
洗濯流し	不	－	要	不																																															
洗濯パン	－	－	要	不																																															
ステンレス流し台	要	不	要	不																																															
化粧棚	不	－	要	－																																															
壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。																																																			
● 給 水 設 備	負担金 弁類 継手類 バルブボックス 隠蔽部の保温 既設給水銅管への接続 水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	● 不要 ○ 要（ ） ※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ※ 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング) ※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製 F 付き内面ライニング弁5K ※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング銅管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ T Sバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。 ※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。 ※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要 ※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等バイプライニング用）にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型糺リケンを使用する場合は処理不要とする。） ※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。 ※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。 ● 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（ ）ヶ所）とする。																																																	
● 排 水 設 備	保護砂 砂利 樹脂製排水樹 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	○ 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。 ※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。 ● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。） ※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要 ○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認 ※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。																																																	
○ 消 火 設 備	消火栓箱	○ 消火栓箱は（○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様） ○ 共住区画の消防検査受検必要																																																	
○ 給 湯 設 備	弁類 絶縁対策 給湯管の保温 大気汚染対策	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。 ※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。 ※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。																																																	
○ ガ ス 設 備	ガス集合装置 給湯器用止水弁 その他	※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。 ※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。 ※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ポンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。																																																	
○ 浄 化 槽 設 備	種汚泥 試運転調整 その他	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。 ※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備																																																	

● 空 気 調 和 ・ 換 気 設 備	空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律(平成十二年法律第百号)）の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。 ※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。 ● 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） ①）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 ②）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り进行ける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはG V及びストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理） （フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。） ○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）○ ※ 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンバにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンバー・吸込口チャンバー・レターンチャンバーは25mm厚、サブライチャンバーは50mm厚）とし、ガラスクロス押えとする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 （参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。） ※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。） ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明S Wの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
	自動空気抜き弁装置 冷媒配管のラッキング	
	ダクト 消音内貼り	
	厨房等の排気フード	
● 別 工 途 事	送風機(大型) エアコン類の電気工事	○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ● 点検口 ○ ● 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○
	防振ハンガー 耐震対策措置 機器付属の制御盤 大気汚染対策	

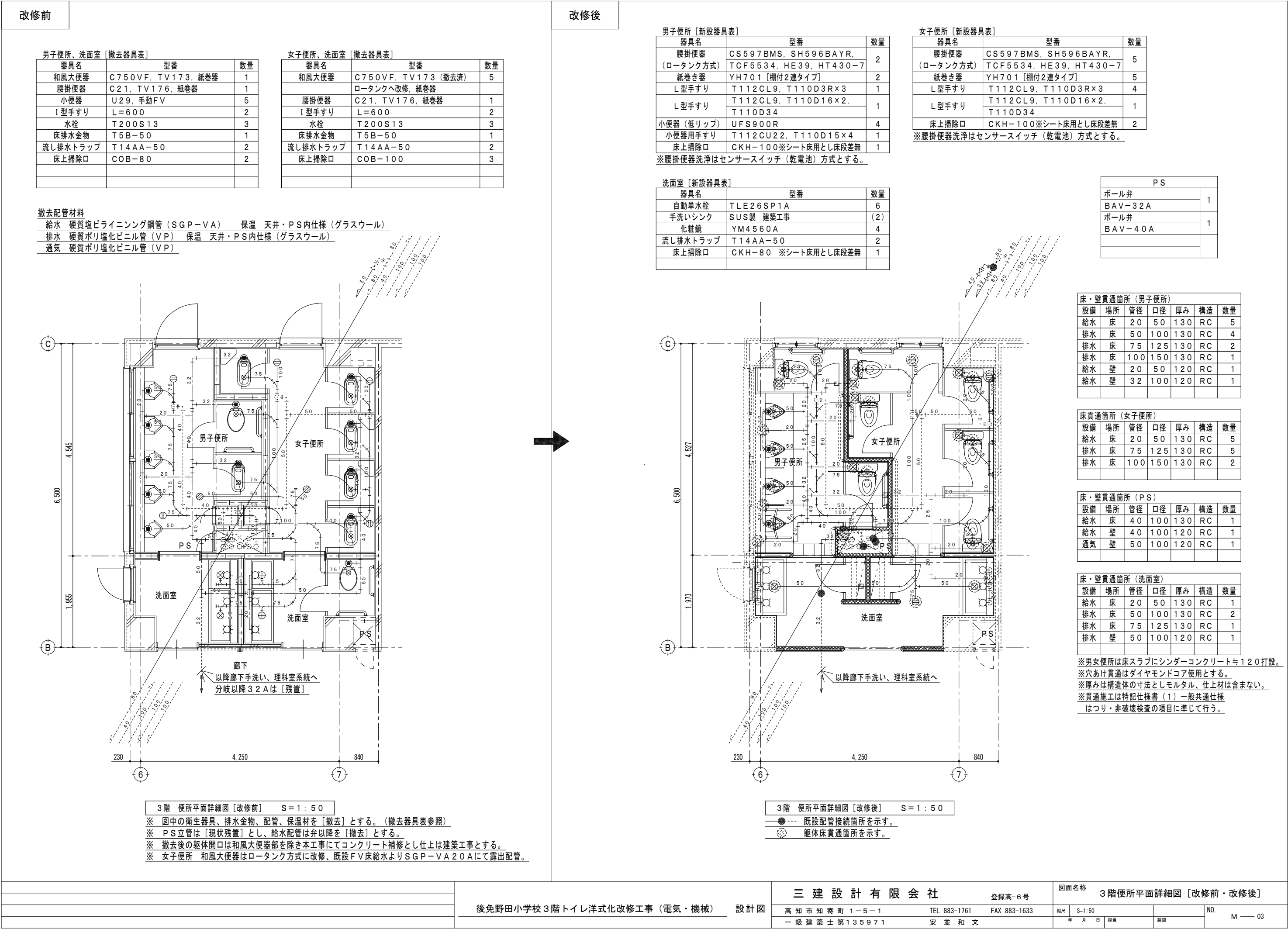
Ⅲ 材 料 メ ー カ ー 表

材 料	材 料 メ ー カ ー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P水槽	三菱、日立、積水 プリヂストンを削除
うず巻ポンプ	荏原、日立、㊞、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、㊞、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、㊞、川本、鶴見、新明和
電気温水器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ローフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

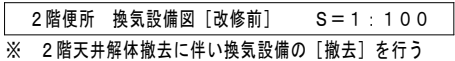
完成後必要な 取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第（ ）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水			令和 年 月 日
排 水			令和 年 月 日
消 防			令和 年 月 日
浄 化 槽			令和 年 月 日
ガ ス			令和 年 月 日
そ の 他			令和 年 月 日
			令和 年 月 日

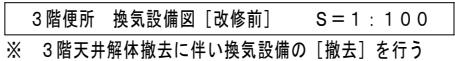
後免野田小学校 3階トイレ洋式化改修工事（電気・機械）	三 建 設 計 有 限 会 社 登録高-6号		図面名称 機械設備特記仕様書（2）	
	高 知 市 知 寄 町 1－5－1 TEL 883-1761 FAX 883-1633	縮尺 S=1：100		N0.
	一 級 建 築 士 第 1 3 5 9 7 1 安 並 和 文	年 月 日 担当	製図	M ー 02



改修前



※ 2階天井解体撤去に伴い換気設備の〔撤去〕を行う



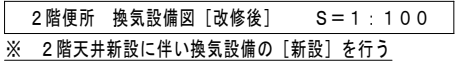
※ 3階天井解体撤去に伴い換気設備の〔撤去〕を行う

撤去換気機器 リスト

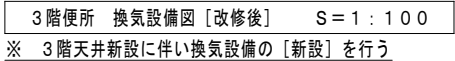
天井埋込換気扇
V-16ZFB2 (三菱電機) $\phi 150 \times 30.0 \text{ w} \times 3.9 \text{ kg}$ 副吸込グリル $\phi 100$ 付 $\times 2$ 台

※ 丸ダクトは亜鉛鉄板製スパイラルダクトを使用。

改修後



※ 2階天井新設に伴い換気設備の〔新設〕を行う



※ 3階天井新設に伴い換気設備の〔新設〕を行う

新設換気機器 リスト

記号	機器名称	機 器 仕 様	電気容量[参考値]		台数	設置場所	備 考
			Φ-V	W			
FE 1	天井埋込換気扇	低騒音型 プラスチックボディ・ファン・グリル（格子） Φ150×300mm3／h×60Pa（強ノッチ） 3段階風量切替（内2段階採用） DCブラシレスモーター、高気密風圧シャッター付 SUS製深形フード Φ150	1-100	7.0	2	2階	天吊り金具共
						女子便所	コントロールスイッチ
						3階	（24時間換気対応、風量ノッチ
						女子便所	選択タイプ）
FE 2	天井埋込換気扇	低騒音型 プラスチックボディ・ファン・グリル（格子） 副吸込口付2箇所同時排気型、副吸込グリル共 Φ100×250mm3／h×100Pa（急速ノッチ） 3段階風量切替（内2段階採用） DCブラシレスモーター、高気密風圧シャッター、 風量調整板付（本体・副吸込グリル共） SUS製深形フード Φ150（ダクト増径図示）	1-100	31.0	2	2階	天吊り金具共
						男子便所	コントロールスイッチ
						3階	（24時間換気対応、風量ノッチ
						男子便所	選択タイプ）

換 氣 設 備 特 記 事 項 (天井埋込換気扇)

排気ダクトは、亜鉛鉄板製スパイラルダクトとし、外壁より1.0mに保温（グラスウール）を施す。

天井ダクト配のON・OFF制御は電気設備工事とコントロールスイッチ（樹脂製ワイドタイプ）は、電気設備に無償支給とする。

雨仕舞いには、充分対応して施工する。